

# 幼の兒の教の育

號四第 號月四 卷六十三第



東京女子高等師範學校  
日本幼稚園協會

文部省學校衛生官  
體育研究所技師

醫學博士

吉田章信先生著

菊判洋綴全一冊  
定價金一圓二十錢送料廿二錢

新刊

夕式

學校衛生評價

學校に於ける衛生の施設は兒童の保健上最も留意せらるべき重大問題である。本書は學校衛生施設の評價を研究したもので、全般的に學校衛生の向上を計り、其一部の施設に於て得たる効果を他の一部に於て是はざる様終始連絡を取り、更に在學中に得たる効果を生涯を通じて保有せしめ、學校に關する關係官廳に於ける施設、師範教育に於ける衛生評價に關する實習の必要等にも言及し、各擔任の定めかた、學校に關する關係官廳に於ける施設、師範教育に於ける衛生評價に關する當局者の採るべき道を巨細に互りて評説し、斯界最高の指針とす。乞必讀

東京帝國大學  
助教

文學士 青木誠四郎著

劣等兒  
低能兒

心理と其教育

醫學博士 三田 谷 啓 著

學 童 保 健

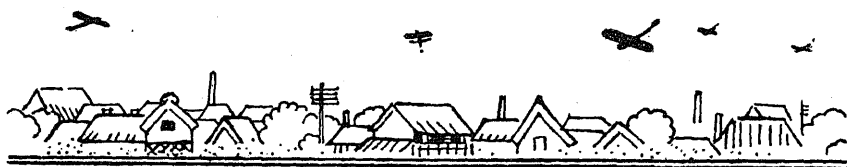
菊定送  
判價料  
全三二  
一回二  
冊八十  
洋十二  
綴錢

等しく人類と生れ乍らも天賦程其の恵々に不公平の物は無い。今假に兒童の天賦精神薄弱、低能、白痴に分類すると極端な低能兒は全兒童の約二%を占め、之れに下智、愚鈍等の綜ての偏異者を合すれば二十%に及ぶと言ふ。著者は只管に之等世に憐むべき人達の幸福を少しでも増す爲に、より完全な教育を慫慂する爲に本書を世に問ふたのである。

菊定送  
判價料  
全三二  
一回二  
冊八十  
洋十二  
綴錢

本書は學童の健康増進に其一生を費き天敵として捧げつゝある篤學の博士が凡ての蘊蓄を傾倒して著せる業績である。從つて其内容に於ては苟しくも學童の保健に關する限り、之れを學的、統計的、施設等の各方面より隈なく詳説し、猶ほ其の實際問題、現狀に基立して懇切に指導してあるから學校教育家は勿論各家庭に於ても本書に依つて學童健康の萬全を期し得る良書である。

發行所 東京市牛込區 中 文 館 書 店 振 電 話 三 三 三 八 四 二 七 番 東 京 市 牛 込 區 中 文 館 書 店 振 電 話 三 三 三 八 四 二 七 番



號四第 育教の兒幼 卷六十三第

—(次 目)—

口繪	倉橋惣三	(一)
卷頭(四月)	和 田 實	(二)
保育事項に就て	谷 口 明 三	(七)
二つの幼稚園	麴町幼稚園	(三)
園児の胸廓について	新 庄 よ し こ	(三)
手紙	牛 島 義 友	(四)
兒童心理學文獻抄(十七)		(元)
系統的保育案の實際解説	倉 橋 惣 三	
生活訓練	菊 池 ふ じ の	
誘導保育案	村 上 露 子	
唱歌遊戯	小 島 そ の	
談話	新 庄 よ し こ	
觀察	小 島 光 子	
手技	及 川 ふ り	

# 長尾豊著作品集

天才を惜しまれ天折した著者の名著選!

蘆谷 蘆村氏 (その童話研究誌上で)  
 長尾さんはたしかに天才の名を以て呼ばれるべき人である——と  
 日本児童劇協會 (機関紙で哀悼を表し)  
 児童劇に志す程の者は直接間接氏に負ふところが少くない——と  
 その他新聞雑誌は——續々追悼號を刊行す

厚生閣

電話九段三二一八番  
 振替東京五九六〇〇番

東京・麹町・下六番町

幼稚園 低學年 おはなし  
 新しい語材豊か話方解説付 送料 二四 價一・五〇

幼稚園 低學年 おゆうぎ  
 子供の土壌を培ふ教育遊戯 送料 二四 價一・〇〇

幼稚園 低學年 びん人形  
 紙芝居以上に面白い遊遊び 送料 二四 價一・五〇

幼稚園 ばなし  
 一々お話の仕方と注意つき 送料 二四 價一・八〇

唱歌 あそびと小さい唱歌劇  
 草川信作曲の新しい唱歌劇 送料 二四 價一・〇〇

お話 あそびと小さい劇  
 初歩的な對話劇の代表作集 送料 二四 價一・六〇

短い對話と小さい劇  
 低學年用のお話と劇を集む 送料 二四 價一・六〇

續 短い對話と小さい劇  
 中學年用のお話と劇を集む 送料 二四 價一・八〇

國語 讀本 教材 お話集 (尋二)  
 讀本教材を歌と遊戯に應用 價各一・八〇 送料各二四

世界 兒童話を戯曲に化せる 兒童劇脚本  
 東洋西洋童話の上演向劇化 送料 二四 價二・六〇

小 國史を戯曲に化せる 兒童劇脚本  
 兒童が興味を持つ國史劇化 送料 二四 價二・三〇

小 理科を戯曲に化せる 兒童劇脚本  
 科學思想の普及に此劇集 送料 二四 價二・五〇

小 地理を戯曲に化せる 兒童劇脚本  
 無味になり勝な地理の脚色 送料 二四 價二・八〇

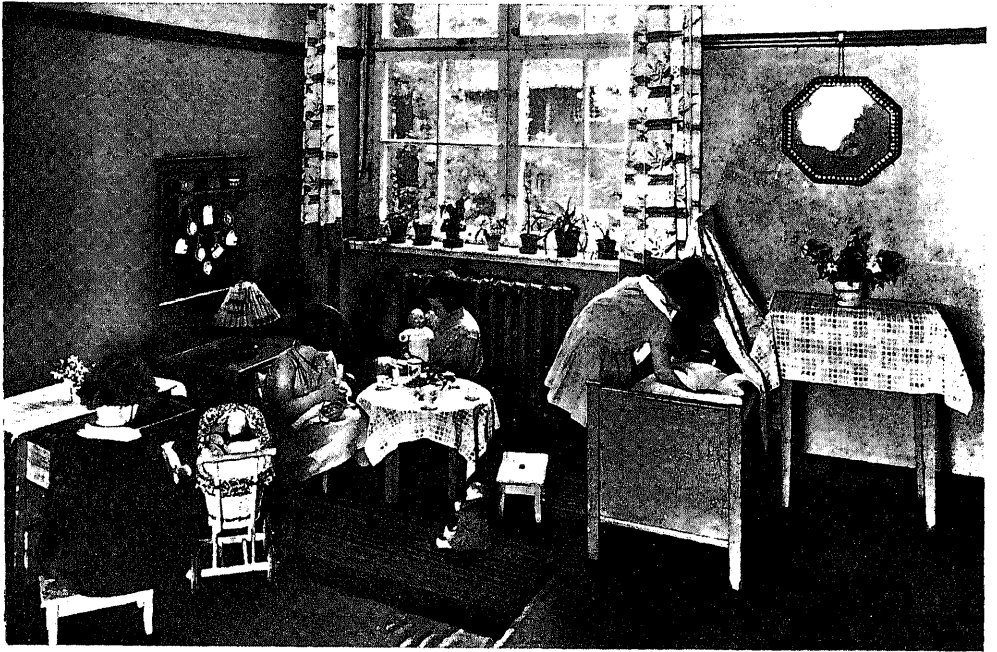
土 傳説を戯曲に化せる 兒童劇脚本  
 兒童劇の日本化郷土化完成 送料 二四 價二・三〇

劇とお話教育問答  
 問答式に一切の疑問を明解 送料 二四 價二・〇〇

童話と其味の方解説  
 童話の話し方取扱方の指導 送料 二四 價二・一〇

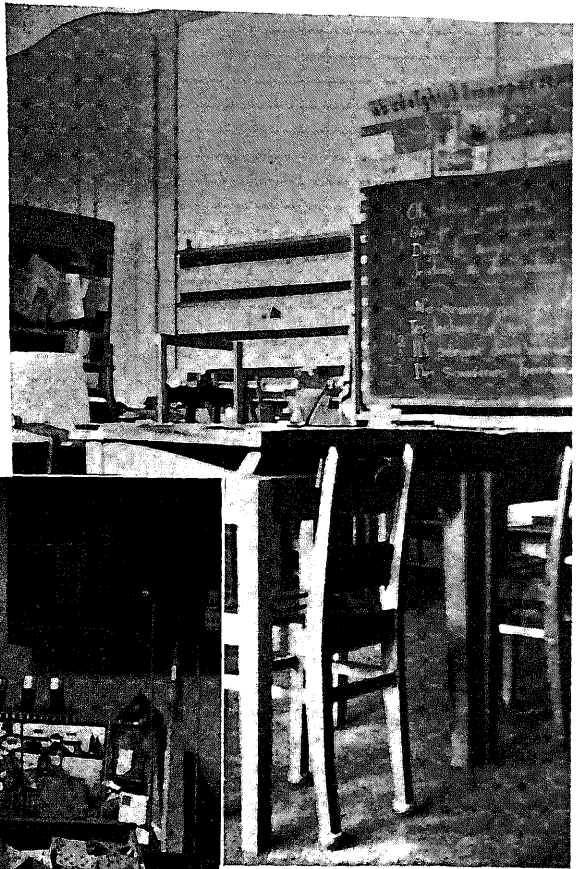
祝祭日 お話集  
 祝祭日のお話資料を網羅す 送料 二四 價二・〇〇

お話全集 (學年別) 全六冊  
 凡る話の寶庫 話方指導つき 價各一・〇〇 送料各二四



照參事記

(ソリルベ)スウハルペーレフチッロタスベ



ルソー幼稚園遊具（ジュネーヴ）  
記事参照

# 幼 児 の 教 育

昭 和 十 一 年 四 月

## 四 月

花が咲いてゐる。みんなに花自ら嬉しいであらう。花が満開してゐる。みんなに花自ら楽しいであらう。その、花自らの喜びを喜びとし、その幸福を祝ふ心、それが四月のまごころである。たゞ、こつちの興味で、美しき眺め、美しき賞するのみではない。

見よ、わが園に、子ぎもらの生活が咲いてゐる。満開してゐる。かれら自らに、みんなに快いこころであらう。みんなに喜ばしいこころであらう。その、子ぎもらの幸福を、子ぎもら自らの心に和して祝ふ心、それがわれらのまごころである。

しかも、またしても、花を賞美するだけで、花そのものゝ心になつて喜んでやらない如く、またしても、教育のためから眺めたりするだけで、子ぎもら自らの心になつて喜んでやるこころを忘れる。

(倉橋惣三)

# 保育事項に就いて

目白幼稚園 和田 實

私は、嘗て、本誌上に於て、現在、法令上に規定された保育事項が適當な分類でない云ふことを、論じたことがありましたが、何うも、徹底して居ない様に思ひますので、今一度之に就いて、論じて見たい。そして、讀者諸君の教を乞ひたいと思ふのであります。夫れに就いては、先づ保育云ふ字の意味をはつきり定義して置いて、論旨を徹底させたいと思ひます。

元來、保育云ふ言葉が、小兒科のお醫者さんの言葉である云ふことは、皆さんも、御存じのことでせうが、従つて其言葉の意味は幼兒の「保護養育」云ふ意味のものであることは、當然のことでありますが、然るに、吾々の使つて居る保育云ふ言葉の意味は、單に、保護養育するばかりでなく、之を教育することを、意味して居るのであります。否、時には寧ろ、養育云ふことを第二義とし、教育を第一義とする位に考へて居るのであります。之に就いては面白い話があります。嘗て、某醫學博士の御紹介で、某官廳が所有される米國の保育狀況の實寫映畫を見せる云ふことでしたので、私の知人なごも、大に期待して、見に行つたさうでしたが、見た所の活動寫眞は、悉く、育兒養育に關したもので、おむつの當て方、取り換へ方、牛乳や母乳の呑ませ方、「抱っこ」の仕方、入浴のさせ方云ふ様な譯で、徹頭徹尾お醫者さんの範圍に屬する保護養育の問題に關するものばかりで、幼稚園の教育狀況も云ふ様なものは一枚もなかつた云ふことでした。是なごも、明に、「保育」云ふ言葉の意味の二様に使用されて居る所から來たところの行き違ひで、紹介した



醫學博士は保護養育を主とする醫學的衛生的に參考さされる育兒上の寫眞を見せ様としたのであつて、お醫者さんとしては、決して、間違つては居らぬのでありますが併し見せて貰はふとした人々は、勿論、以上の様な意味ではなく、我「幼兒教育」の參考なる可き米國幼稚園の教育狀況を見られるものと思ひ込んで居つたので、案に相違した寫眞の實際に、大に失望した云ふ様なことになつたのであります。是なき、明かに、用語の意味を明確に、意識して居ない所から來る誤謬で、若し、此様な會を催す主催者に、「保育」の用語に、二様の使ひ方があることを意識して、お醫者さんの使はれる言葉に我幼兒教育者間に使はれる言葉とは、同じ「保育」云ふ言葉でも、一様でない云ふことを知つて居つたならば此様な間違を起さなかつたらうと思ふのであります。

話は餘談になりましたが、兎に角、斯様な譯で、吾々の使つて居る保育云ふ言葉は幼兒教育云ふ意味で、決して、お醫者さんの使はれる様に、單に、體育的にのみ考へては居らぬのであります。それですから、保育云へば、直に、幼兒教育と解さねばならず、「保育事項」云へば「幼兒教育の諸事項」即ち「幼兒教育の諸材料」と解釋せねばならぬことなるのであります。

斯様に解釋することに困つて、更に改めて、今一度、法令の條文を見直して見る。

保育事項は(幼兒教育事項は)談話、唱歌、觀察、手技、遊戲等とす。と書いてあることが、可笑しく感ずることになるではありませんか。何故かと申すに、談話、唱歌、觀察、手技、遊戲等と如何にも澤山の事項を含むで居る様に見えますが、之を總括すれば廣い意味で云ふ「遊戲」と云ふ言葉に一括されるものではありませんか、仍で、之を云ひ換へれば「保育事項は遊戲とす」となつて仕舞ふではありませんか。従つて、法令上では、保育事項としては遊戲と云ふ一事項の外、認め居らぬことになるではありませんか。勿論、法令上には、「行儀を躰げよ」とか「善良なる性情を涵養せよ」とか云ふこと

が、保育事項以外に書いてはありますが、是等のものを保育事項即ち幼児教育事項としては認めて居ないのであります。

或は、賢明なる讀者は、「夫れは當り前ではないか、是等、行儀とか性情とか云ふものは主觀的形式的のもので、幼児の身體を離れて存するものではない。従つて教育材料ではない。故に、保育事項でないのは當然の「ことだ」云はれるかも知れない。誠に、御尤ものことであるが、併し、反問したい。「果して然らば、是等の行儀や性情は何に因つて賤けられるか」、「遊戯事項のみに因つて、行儀の賤けや性情の涵養が出来るだらうか」云ふことである。勿論、遊戯に因つて或度迄は賤も出来れば性情の涵養も出来るに相違ない。併し、賤け方の全部が、性情の全部が遊戯に因つてのみ賤けられ涵養せられるものでないことは云ふ迄もないでせう。何となれば遊戯生活の未だよく發展しない様な幼稚な時期に於ても既に規律、習慣云ふものは相當に賤げる必要があるからであります。若し、遊戯に因つてのみ、教育されなければならぬとすれば、遊戯的生活の發展しない中は教育は全く行はれぬことになつてしまふことになります。こんな不都合なことはないでせう。然らば、遊戯以外の教育事項は何でせう。遊戯に因らないで、行儀の賤は何であるか云ふことです。斯うなるを、吾々は遊戯以外に、尙まだ、教育事項がなければならぬと云ふことを思はねばなりません。然うするに、何うしても、吾々は、改めて、幼児の生活其ものを見直す必要があります。

抑々、幼児の生活云ふものは如何様に分類されなければならぬか云ふに、吾々は次の三つの方面を考へさせられます。

一、日常の衣食住に關する生活 二、遊戯生活 三、其他の生活

分類的仕方は色々あるでせうが、兎に角、遊戯生活以外に、まだ、色々の生活がありませうすれば、夫れ等の生活も、當然遊戯生活と同じ様に、教育の對象でなければならぬことは當然のことではありませんか。何となれば、教育云ふ仕事は遊戯生活を支配することに因つて、其一部の目的を達することが、出来るものならば、遊戯と同格に分類される其他の生

活に因つても、或方面の教育目的を達するこゝが出来るに相違ないこゝは、別に困難な論理ではないと思ふのであります。

然るに法令では遊戯事項だけを、保育事項として掲げただけで、其他の教育事項を保育事項と見做さないのでありますから、不都合な事ではありませんか。是は何うしても法令を改正して適當な保育事項を示さなければならぬと思ひます。

或は、云ふ人があるかも知れぬ。法令には「等」云ふ字が使つてある。是は五つの保育事項の外に、まだ保育事項のあるこゝを意味して居るではないか、と併し、文章の構成上から考へて、

「談話、唱歌、觀察、手技、遊戯等」との「等」の字は、前に並べた五つの事項が遊戯(廣い意味)事項の分類以外の何物でもないこゝから押して、遊戯以外のものを指して居ることは思へないのが當然ではありませんか、例へば「鯉、鮎、鰻等」と云へば、是等の字は矢張、魚類を意味するのが當然であり、「机、椅子、本箱等」と云へば、此等の字の意味は尙、家具什器の類を指して居るこゝ解するのが、當然ではありませんか。して見れば「談話、唱歌、觀察、手技、遊戯等」と云ふ條文は徹頭徹尾、遊戯の分類に過ぎないので、遊戯以外の生活は少しも含んで居らぬこゝになり、従つて、保育事項としては遊戯以外の生活を全然除外したこゝになるではありませんか。是は、不都合なこゝでせう。つまり、私共の考へ方から云ふと、保育事項と云ふ廣い意味の言葉を擧げて、其内容を列擧して説明せんとするのに、單に、一方面の内容を細かく、列擧するに止まつて、他の方面を全く閑却したと云ふこゝになると思ふのであります。是は、一概念の内容を完全に論理的に分類しないこゝから來る誤謬で、物を研究するこゝには慎まねばならぬ論理的缺點であります。

斯様な次第ですから、「保育事項」はと、呼び掛けて、其内容を説明しやうとするならば、幼児の生活の全方面に涉つて適當な分類を試みて、之を掲げなければならぬと思ふのであります。

或は、又、云ふ人があるかも知れません。幼稚園に於ける保育事項は學校に於ける學科の如きものであるから、學校の

教育事項を以て學科のみを擧げて其他の訓練事項を擧げてなくとも差支ない様に、幼稚園でも、遊戯事項のみを上げて、其他を上げなくとも、不都合はないではないか、云ふ人があるかも知れません。是は飛んでもない間違つた考へ方です。斯ふいふ考へ方をする人は、學校を幼稚園を云ふものを、全然同性質のものを見て居るのですが、事實、學校を幼稚園とは其根本の性質に於て異つて居ることを認めなければなりません。

元來、學校を云ふものは「教授」を云ふことを中心として、教育をしようとするものであるのに、幼稚園は教授を云ふことを度外して、單に、幼兒をして、幼兒生活其ものを、充分に、満足させることに因つて、教育しようとするものであります。従つて、一方は學術の教授に因つて教育しようとして、必要な學科を羅列して居ますが、一方は單に、其生活を生活させようとして居るに過ぎないので、其教育事項は、生活の分類に過ぎないのであります。従つて、保育事項は幼兒生活の分類であつて、決して、教授學科ではありません。よく、父兄などで、斯様な間違つたことを云々するものがあるのは止むを得ませんが、保育事業に従事する人であつて斯る間違つた考へを持つて居る人のあることは慨嘆に堪えません。然も、地方保育界の指導の位置に居る人で、斯る誤謬に陥つて居る人が、往々にしてあるのは、我保育界に其人のないを示す様なもので、如何にも残念なことであります。尤も、小學校の教育も、近來、大部、生活主義が流行して來て、國語生活、手工生活、遊戯生活など云ふ言葉が、小學校の先生方に論議されて居るのを聞く様に、學校教授時間の以外に於ける兒童の生活に就いて、段々、注意される様になつては來ましたが、まだ、一般には教授一點張り、教授即ち教育、若しくは「教授なければ教育なし」を云ふ思想で、満ちて居ります。之に反して、幼稚園を云ふものは、決して知識の授與を云ふことのみ没頭する様なことではないのであります。斯様に、幼稚園を學校とは根本に於いて、其性質を異にして居るのであります。従つて、幼稚園保育事項を學校に於ける學科とは全然、性質を異にするものであります。

# 二つの幼稚園

内務省社會局事務官 谷 口 明 三

子ぎもの幼稚園教育を云つたような事柄には全然素人の私が、昨年外遊を機會にヨーロッパで二つの幼稚園を視察した。一つはジュネーヴのルソー幼稚園であり、他はベルリンのベスタロッチ・フレールハウスである。そして、偶然にも此の二つの幼稚園は、互にす違なる二つの型を持ち、各々その特色を發揮してゐるこゝが素人の私にも了解せられて、非常に興味を惹かされたこゝであつた。

昨年六月、ジュネーヴで開かれた國際勞働會議に政府から出席を命ぜられ、これを機會に、引き續き歐米の一般社會事情が勞働政策さか、謂はゞ餘り柄のよくない形而下的な事象を視察するこゝになつてゐた私には、深遠な教育のこゝなき全く専門外のこゝで解る筈もなく、殊に最も困難さされてゐる幼稚園教育の視察をするなき、全く正氣の沙汰さと思はれなかつた。何のためにこんな大それたこゝをする氣になつたのか、私自身よく解らない程であつたのだ。

一日、友人に「今日は幼稚園の視察だ」を話したら「君も完全に親父になつたナア、神妙な心掛だ」を揶揄されてしまった。成程、洵に神妙な心掛に違ひない、そしてまた、むづかしい幼稚園教育なき解る筈もなく、視察しても見當外れの視方をする眞のある私には、幼稚園の視察なき亦實に勇敢な振舞でもあるのだ。

併し、世に子を持つ親の愛程強いものはない。子のためには、その親は神妙にもなれば勇敢にもなる。私は當時、ちよ

うき幼稚園に通ふ一人の娘の父であつた。

二

會議終了後の一日、餘暇を利用してジュネーヴのルソー幼稚園を視察に出かけた。ジュネーヴの六月は新緑の初夏の氣候で、樹木の多い町端れに在る幼稚園の庭は新鮮な緑に包まれて、跳まはる子ぎもの樂園そのものであつた。

此の幼稚園は世界にも名のある幼稚園だ、予ねて其の道の先生に聴かされてゐるが、古風にして落付のある建物、靜かな園域、成程こ頃かれるものがあつた。

先づ、研究室に Paret 教授を訪ねた。彼はルソー大學の教授で、子ぎもの教育には特に造詣の深い心理學者である。豫め約束のしてあつた私を快く迎へて、ルソー幼稚園の創立の沿革や現在に於ける保育方針等に付色々こ詳はしい説明をしてくれた。彼は私を多少こも斯の道に心得のある者こでも思つたのか、むづかしい兒童心理の話なご持ち出され、素人の私を少なからず面喰はした。が、その時日本のプロフェッサー・クラハシ（倉橋惣三先生を指す）は斯道に名のある人だこ聞かされたので、これ幸ひこ、倉橋先生のことや、先生に御厄介になつてゐる私の娘のここなきに話を導いて、兒童心理學問答の難をのがれた。

翌日、園長オールドマール女史の案内で幼稚園の色々の設備を視察するここを許されたが、生憎、園長に突然の故障が出来た爲め、副園長たる一老女史の案内で保育に關する色々の説明を聴き、澤山の設備を視るここが出来た。此の幼稚園の保育方針は、もこ、伊太利の教育家モンテッソーの教育方針を採用してゐるが、その後、現園長オールドマール女史の研究に依り、同女史の新機軸に係る新しい方針に基いて保育するここになり、爾來著しく好い成績をあげてゐるこで大變な自慢であつた。私はその新しい方針なるものに付いて詳はしく聴きたかつたが、前日ピアジェ教授の兒童心理學問答（？）に

怖をなした私は遂に質問を發する勇氣がなかつた。

園内の各室には色々澤山の設備が順序よく配列せられてあつたが、私はこれを視て、當幼稚園の保育方針が、如何にして子ぎもの情操を早く發達させ、また、如何にして子ぎもの叡智を強く引き伸ばして行くか、云ふこゝに非常な努力を研究が拂はれてゐる云ふこゝを特に感ぜさせられたのである。

此の目的のために使用せらるゝ色々玩具その他の機械的諸設備の完備してゐるこゝには全く驚かざるを得なかつた。私は餘りに各種の施設が理論的に出來上つてゐるので、案内の先生に「色々設備は寔によく整備されてゐるが、子ぎものに對して刺戟が強過ぎはしないか」を尋ねたら「當幼稚園は少數の天才の卵を造るこゝに力を傾けてゐる」の答であつた。そのよしあしは私には解らないが、成程頷かれる節があつた。この點に於て、次に述べるドイツの幼稚園著しくその保育方針を異にしてゐるように思はれる。それは、恐らくは、その國情の相違に深く源を發してゐるのであらう。私は此の點に付いて、後に更に、淺薄な素人の判斷を試みて見たい。

### 三

「ハイル・ヒットラー！」と、右手を舉げた可愛い幼稚園の子ぎも等の心からなる挨拶に迎へられて、私は或る日、ベルリンのベスタロッチ・フレールベル幼稚園を訪ねた。一つの新しい指導精神を以て祖國の復興に懸命の努力を拂つてゐる新興ドイツは、その將來を擔ふべき第二の國民にどんな教育を施してゐるか、私はこのこゝに特別の興味を惹かされたのであつた。

此のベスタロッチ・フレールハウスはドイツに於て最も古く創立せられたものであり、現在に於ては其の規模も最も大きく、事業も非常な好成绩をあげつゝあつて、ドイツに於ける代表的なもの云はれてゐる。

そのため、ドイツ國內は勿論のこゝ、外國からも多數の視察者があるので、一人の若い女の先生が案内専門の仕事に従事してゐる。また、色々の印刷物や寫真なども希望に依つて自由に購ふこゝが出来ようになつてゐて、視察者は非常な便宜を感じる。

この幼稚園は、その初め一八七六年、フレールの姪で且つ彼の生徒であつたヘンリエテ・シュラーデルブライマンの創意に依つて興されたものであつて、最初は八人の子もその保姆たる少女五、六人をも養成した極めて貧弱なものであつたが、現在では三百人の子も四百五十人の生徒も五十人の先生をも持つ大規模なものになつてゐる。

案内の先生の説明は洵に入つたもので、年は若い流石に専門家たるの名を辱しめなかつた。そして、如何にも得意げに色々の設備を見せてくれ、學校の組織や幼稚園の教育方針などに付詳細な説明をしてくれた。それに依るこゝ、このペスタロッチ・フレールベルハウスは二つの大きな部門から成つてゐて、一つは將來保姆又は家庭の母となるべき人を教育しこれを養成する機關であり、他は即ち幼稚園も云ふべき部門であつて、子どもの保育を掌るものである。

前者はその事業が幼稚園プロバの事業でないこゝは勿論であるが、両者は本來密接不可分の關係にあるべきものであるから、一應その組織を視るこゝにした。こゝは、保姆の養成、保姆に對して一般的な指導教育を施す教師の養成、保姆に對して手工等特殊の教育を施す教師の養成及び幼稚園に於て母代りに幼児を育てる保育婦又は家庭に於て將來母たるべき者の養成等の四種の教程があつて、極めて専門的な組織と設備とを持つてゐる。その科學的なこゝろ、如何にもドイツの教育機關たるの面目躍如たるものがあつた。こゝには單にドイツ國內からばかりでなく歐洲の各國からも多數の留學生が派遣せられ、現在、約四百五十人の生徒を擁して歐洲の教育界に赫赫たる名聲を馳せつゝあるが、蓋し當然に云ふべきであらう。私は勿論、幼稚園の組織により多くの興味を持ち、主としてこの方を視察したのであるが、此の幼稚園は、普通



一般に觀念せられてゐる所謂幼稚園は著しくその趣を異にしてゐることを發見した。これを我が國の機關にたこへて見るならば、普通の幼稚園を極めて贅澤な託兒所を兼ねてゐるものだ云ふことが出來よう。従つて、園兒の年齢、種類等必ずしも一定せず、中には未だ母親の手から離れることの全然困難な幼兒もゐて、先に述べたその方の専門の先生が食事の世話から入浴に至るまで一切の保育に従事してゐる。また、學齡に達しても身神の發達未だ充分でない子ぎもに對しては、園兒として強制的に入園せしめられることになつてゐて、その組織は極めて複雑であり、非常な苦心が拂はれてゐる。そして、この施設が著しく社會政策的な機關としての色彩が濃いことを感じた。併し乍ら、それは決して所謂救濟的な社會事業ではなく、その保育方針は極めて科學的であり、その設備も亦よく完備してゐて、園兒を通して學問を實際の融合がこゝに展開されてゐるのを視ることが出來た。

ルソー幼稚園で「こゝは少數の天才の卵を造ることに力を傾けてゐる」を聞かされた私は、案内の先生に「當幼稚園に於ける幼兒保育の根本目的は？」と質ねたところ、言下に「出來得る限り多數の健全にして圓滿なるドイツ國民の卵を製造するに在る」の答であつた。少數の天才の卵を造る代りに、將來益々風當りの強いであらう大國ドイツを擔ふに足るガツチリした國民を一人でも多く製造することが彼等の念願であるのだらう。

#### 四

私は歐米外遊中、職務上の視察の餘暇を利用して僅かに二つの幼稚園を視察したのであるが、偶然にもその二つが幼兒保育の方針に於て、従つて亦その方法に於て、根本的に相異なるものあるを發見したのであつた。一方は「少數の天才の卵を造るのだ」云ひ、他方は「健全にして圓滿なる國民の卵を一人でも多く製造するのだ」云ふ。固よりその當否は素人たる私には解らないが、此の如き保育方針の顯著なる差異は、多分に、その國の國情の差異に深く因由してゐるのではない

かと思はれる。

スイスは歐洲に於ける大國の中間に位してその勢力均衡のため永世中立國となり、外敵の厄に遇ふことなく、世界平和のシンボルとしてその繁榮を持續してゐる國であつて、世界平和に關する一切の機關はジュネーヴに集中せられてゐる。従つて、國民が自國の國力充實、國防の強化等の問題を通じて國家觀念を養ふ機會が乏しい、また、その必要の少ない國でもある。かゝる國家の教育が、多數よりも少數、量よりも質たるの色彩を濃くし、それが尊重せらるゝに至るのは亦已むを得ない自然の傾向であつて、かゝる國家に於ては亦相當有意義な原則であるかも知れない。

之に反して、ドイツは歐洲の大國として古より緊張した國際場裡に在り、特に昨今の新興ドイツは、國民に最も強烈な國家觀念を吹き込み、一人でも多くの國民の力に依つて國力の恢復を充實を圖ることを要求されてゐる。質よりも量、國民の悉くが健全なる發達を遂げ、その力に依つて國家の復興を圖ることを急務としてゐる。少數の天才よりも不健全なる國民の一人でも尠なからんことを念願してゐるのは正に當然と云はねばならぬ。

され、子ぎもの國は天國の樂園。それは國境のない世界である。嬉々として跳まはつてゐる天真爛漫の相、無邪氣に演ぜらるゝ遊戲、紙芝居に興ずる彼等の顔、砂遊び、さては土盛りして死んだ昆蟲の冥福を祈る御慕遊び。之等の諸相を通じてその幼稚園を視るべきは、其處にはジュネーヴもなければベルリンもなく、更に東京もない、と云ふことを深く感ぜさせられたのであつた。(一一、三、三二)

# 園児の胸廓について

東京市麴町區 麴町幼稚園

保育の對象となるものは園児であります。保育は園児の肉體と精神とをとして其の環境について考へて行かねばならないと思ひます。

身體と精神とは恰かも車の兩輪のやうなもので肉體を離れて精神はなく、精神を離れて肉體はないのであります。身體と精神を離れては保育も亦ない事になります。

現在の保育が身體と精神、この兩方面について充分調査も研究も出來てゐるかどうかといふことを一應考へて見る必要が無いでせうか……。

精神的の方面は幾多の學者や先輩によつて研究されてゐるのであります。身體方面は餘り研究も調査もされてゐないやうに思はれます。現に四月に行はれる身體検査の統計すらも完全なものはないといつてもよいのであります。従つて統一した標準といふものはない理になります。

身長、體重、胸圍位の全國の標準は是非欲しいと思ひますが、それすら得られないのであります。

幼稚園は身體を如何に伸ばして行くかといふことを先づ考へなければならぬと思ひます。身體を伸ばす爲には園児の肉體をよく知らなければならぬのであります。肉體をよく知る者は醫者でありますから、これをも相提携する必要もあります。

又保育者自身も生理學、衛生學位は研究して保育に迄利用するこいふ事であれば其の目的を達するこは不可能だと思ひます。

こんな考へから本園では昭和十年四月より園兒の身體方面の研究調査をはじめまして、先きには足の研究を致しましたが、今回は胸廓の研究をしたわけであります。

何故に胸廓を測定したかこ申しますこ胸廓の構造は園兒の體格を判定する上に大いに參考なるもので、胸廓の發達の不良なるものは概して虚弱兒で、肺結核に侵され易く、之に反して胸廓の發達良好なるものは身體の健康なるものが多いからであります。

胸廓こいふのは簡單にいへば胸椎、肋骨、肋軟骨、そして胸骨が相联接して出來てゐるもので、其の内部の腔隙を胸廓こいふのであります。この胸腔の中には肺、心臟、大動脈、氣管、食道なご我々の生活に最も重要である色々な臓器が填充されてゐるのであります。

胸廓の下の方は横隔膜をもつて腹腔こ界してゐるのであります。云ひ換へるこ胸腔こ腹腔こは横隔膜が隔をしてゐるこいふこになりす。

胸廓の形狀の如何は直ちに内容臓器に大影響を及ぼすもので、肋骨の形狀、胸骨の位置、胸椎の不正等に依つて種々の形狀を呈してゐるのであります。

胸廓の形狀の異常には色々な名稱をつけてをりますがその代表的のものは鳩胸・漏斗胸・扁平胸であります。實際園兒の胸廓測定をして見ますこ驚くほご種々な形狀を發見するのであります。

胸廓を完全に測定するこいふこは仲々困難な事であります。第一測定機に完全なものがないのこ、もう一つは餘程よ

く熟練しないミ原形を壊さず其の形状を取るこゝが出来ない事であります。

測定機にも色々あるやうであります、本園で使用致しましたものは、KY胸廓描寫測定機といふのであります。現在のところではこれが最も新式で一番よいやうに思はれます。



が胸廓が悪いといふこゝになります。

これも保育上の参考になると思ひます。

胸廓の形状を測定する前に胸圍を測定して見ました。次の表がそれであります。

六歳 (男)

最小 四六・〇〇 櫃

七歳 (男)

最小 四九・〇〇 櫃

八歳 (男)

最小 五一・〇〇 櫃

機械使用の説明は略しますが、これとても熟達いたしませんミ上手に描寫するこゝが出来ません。

本園で調査したものは男子三八名、女子四四名、合計八二名であります。内正常形のもが五〇名不正形のもが三二名あります。正常形のもを男女に區別して見ますミ男子二三名、女子二七名で女子の方が男子よりも四名多いこゝになりますから、本園の調査の結果では女子よりも男子の方

最大	五三・〇〇	最大	五六・〇〇	最大	五七・〇〇
平均	五〇・五〇	平均	五三・三二	平均	五四・七六
六 歳(女)		七 歳(女)		八 歳(女)	
最小	四九・〇〇	最小	四八・〇〇	最小	四九・〇〇
最大	五三・〇〇	最大	五六・〇〇	最大	五三・〇〇
平均	五一・五〇	平均	五二・一三	平均	五二・三二

昭和七年度東京市幼稚園統計(最近のものは未製)

六 歳(男)	平均	五一・四〇	平均	五二・三〇	平均	五三・一〇		
六 歳(女)	平均	四九・八〇	七 歳(女)	平均	五〇・二〇	八 歳(女)	平均	五一・七〇

右の二表を比較して見ますと左の様なものになりますが、これは測定の年度が違ひますから餘り参考にはならないと思ひます。

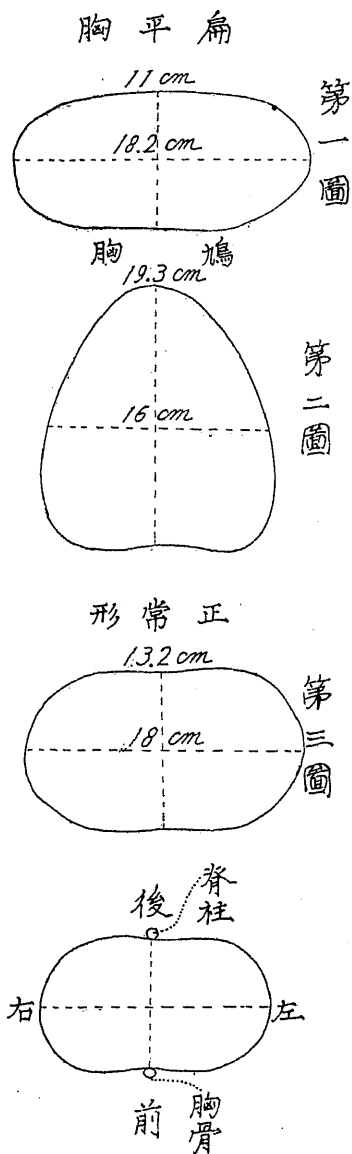
六 歳(男)	本園平均	五〇・五〇	七 歳(男)	本園平均	五一・五〇	八 歳(男)	本園平均	五二・三二
	全市平均	五一・四〇		全市平均	五二・三〇		全市平均	五三・一〇
六 歳(女)	本園平均	五一・五〇	七 歳(女)	本園平均	五二・一三	八 歳(女)	本園平均	五二・三二
	全市平均	四九・八〇		全市平均	五〇・一〇		全市平均	五一・七〇

小學校の統計を見ますと身長・體重は年々増加の傾向にありますが胸圍は寧ろ現状維持といふ狀況にありますから幼稚

園の方も大した変化がないものと推定して、ここに挙げたわけであります。

胸圍は胸廓の外周を數に現はしたゞけでありますから其の太さはわかりませんが、その形状がこんなであるかといふことは一更に分明りません、胸廓測定はそこに意義を生ずるのであります。

胸廓を測定して見ますと其の形状は個性形があつて皆異つてゐるやうなものであります。次に二三の形状を擧げて見ませう。



胸廓を測定するに第一圖・第二圖・第三圖に擧げたやうな形が描寫されます。この形を圖のやうに脊柱の中心(胸椎部)から胸骨の中心に向つて引いた線が胸廓の前後徑であります。この前後徑を二等分して直角に一線を引きます。これが左右徑であります。この前後徑・左右徑の比を研究して見るこゝが大切なのであります。

前後徑

六歲(男)

最小 一〇・一〇

最大 一四・二〇

平均 一二・三三

六歲(女)

最小 一三・〇〇

最大 一六・一〇

平均 一四・〇三

左右徑

六歲(男)

最小 一五・三〇

最大 一七・二〇

平均 一六・三五

六歲(女)

最小 一六・二〇

最大 一八・九〇

平均 一七・五六

前後徑平均表

六歲(男) 一二・三三

七歲(男) 一三・九九

八歲(男) 一三・二五

左右徑平均表

七歲(男)

最小 一一・八〇

最大 一九・〇〇

平均 一三・九九

七歲(女)

最小 一〇・一〇

最大 一八・七〇

平均 一三・八四

七歲(男)

最小 一六・三〇

最大 一九・八〇

平均 一七・九〇

七歲(女)

最小 一五・二〇

最大 二〇・五〇

平均 一七・七一

八歲(男)

最小 一一・〇〇

最大 一五・一〇

平均 一三・二五

八歲(女)

最小 一一・二〇

最大 一五・六〇

平均 一三・六六

八歲(男)

最小 一四・七〇

最大 一九・九〇

平均 一八・二九

八歲(女)

最小 一六・二〇

最大 一九・四〇

平均 一八・〇三

六歲(女) 一四・〇三

七歲(女) 一三・八四

八歲(女) 一三・六六



六歳(男)	一六・三五	六歳(女)	一七・五六
七歳(男)	一七・九〇	七歳(女)	一七・七一
八歳(男)	一八・二九	八歳(女)	一八・〇三

前後徑と左右徑との平均比較表

六歳(男)	七歳(男)	八歳(男)
前後徑 一二・三三	一三・九九	一三・二五
左右徑 一六・三五	一七・九〇	一八・二九
六歳(女)	七歳(女)	八歳(女)
前後徑 一四・〇三	一三・八四	一三・六六
左右徑 一七・五六	一七・七一	一八・〇三

右の表に依つて見ますと大體こゝいふ事になります。

6歳(男)	前後徑：左右徑=12:16	6歳(女)	前後徑：左右徑=14:18
7歳(男)	前後徑：左右徑=13:17	7歳(女)	前後徑：左右徑=14:18
8歳(男)	前後徑：左右徑=13:18	8歳(女)	前後徑：左右徑=14:18

右の表の結果からかういふ事が云へると思ひます。即ち前後徑と左右徑との差は四センチ乃至五センチであること……。實際調査の上から見ましても四センチ乃至五センチの差にある胸廓の者は正常胸廓の所有者でこれ以上の差のある者は不正胸廓者が多いのであります。

鳩胸の子供は左右徑よりも却て前後徑の方が長い者があります。(第二圖参照)  
 それでなくても前後徑左右徑の差が四センチ乃至五センチよりも少いのが普通であります。

漏斗胸・扁平胸の子供は鳩胸の者ミ反對に左右徑が前後徑よりも長いのが普通で、左右徑が長くなればなるほど胸廓は薄く扁平になるのであります。

不正胸廓者の中には右に擧げた外に左右に於て、平均發育をなさずして一方が陥没して居る者もあり、前後に於て凹凸があつたりして其の形狀が如何にも不正になつてゐます。こんな子供は大抵虛弱兒で微熱があつたり、よく風邪に冒されたり、即ち呼吸器系統の弱い子供でよく幼稚園を休むのであります。

胸廓を測定して正・不正を調査したゞけでは何の役にもたゞないと思ひます。

實際保育の任にある私達は胸廓不正者を發見して、これ等の可憐な園兒を、さうするかこいふことが問題であります。胸廓不正は之を直すことが不可能であるかこいふに決してそうではありません。

適當な手段方法をもつてすれば之れを矯正することが出来ます。矯正醫療體操によれば先天的強度の者でない限りは正常に矯正することは左程困難ではありません。

矯正法については後日稿を改めて述べることに致したいと思ひますが、幼稚園時代は殊に肉體の發育上に頗る旺盛の時でありますから肉體養護の上からいつても正常な形を害ふやうなここなく伸ばして行かなければならないと思ひます。

これも私達の責任の一つではないかと思ふのであります。

附記 この調査は園長竹内嘉兵衛、主任保姆柴田みどり、保姆藤澤壽、同渥美榮子、土村みよの共同調査に成りたるものなり。

# 手紙

新庄 よしこ

或る日倉橋主事から、横河楳子さんの委しい來歴が知りたいが、爲人、出身なごについて、その頃御一緒であつた豊田さんや、小西さんや、氏原さんなごへ、問ひ合せてもらひたいさいふお話があつた。明治十一年頃から、同じく十六七年頃迄、こゝの附屬幼稚園の保姆であつたので、その頃のいろくの記録なごを讀んで見るに、よく出てくる名であつたら、何まなく親しみも持ち、豊頼のいごも柔和な、これが横河さんご聞かされて、寫真を見てもすぐわかる程にはなつてゐた。然し、その委しい履歷についてはわかつてゐなかつたので、これは丁度いゝ機であるから、早速この際お伺ひして置きませうごお返事をしておいた。

急ぎごは知りつゝも、あり合せの用箋で走り書きさいふ氣にもなれないで、氣にかゝりながらも次の日曜の朝を待つた。日當りのいゝ縁側に巻紙をひろげて、さう書かうかご考へ考へ墨をするのは、若い頃覺えなかつた樂しみである。

かうして書いた宛て名の先生は、何れも齡七十をさうに越して居られる高年の方々ばかりなので、ほんさうならば、参趨の上親しくお目にかゝつて伺ふ筈、手紙に託してさいふごは、返事をお書かせしなければならぬ先生方の、そのわづらはしさを、心ぐるしく思ひながら、相濟まぬよん所なさをこゝろに詫びつゝも書いたのであつた。

しばらく経つてから、夫々お返事が來た。明治十四年ごろから、幼稚園主事で、最も同女史ご交りの深かつた小西信八先生からは、今問ひ合せ中故、わかり次第お知らせするさいふ葉書であつた。

熱海西山に老後を養つて居られる、云つても、讀み書きがお好きで、まめに書いて下さる幼稚園のおばあさま、氏原銀子先生からは記憶をたぎつて、細々書き書いて下さつた。明治十二年ごろ、同じく保育練習のために幼稚園に居られて、そのまゝ練習済みの上は保母として、のこられたやうに思ふ、漢文のたくみなこもつけ加へてあつた。

いつからか眼がお悪いといふ豊田先生からは、ごうかしら、お返事が頂けるか、それとも代りの方からでも思つてゐたところ、いつものお字の封書が届いた時は嬉しかつた。これにも大そう漢學の素養深く、資性溫和でござつた。この巻紙の終りに、豊田英雄九十二歳さ小さく添へ書がしてあつたので、私はもう一度繰り返してこのお手紙を讀んでみた。折柄風邪をひいて居て、こちらよりこそ代筆のお禮の手紙を出したやうなわけであつたが、臥つてゐた折柄感じ易く、この高齢の先生のごきがあれこれ思ひ出されて、一人でいろいろ、皆様にもお話したいやうな氣で、考へて居た。

昭和四年お茶の水の園舎で、幼稚園懷舊談會を催し、先生方をお招きして、舊い幼稚園のごきをいろいろ伺つたごきがあつた。明治九年附屬幼稚園の創設に、親しく關與せられた豊田英雄先生は、水戸からはる／＼お出で下さつたのであつた。玄關へお迎へした時、丁度そこに小西先生がお出でになつて、お二人で堅い／＼握手をなさつたごきも思ひ出される。五十年振りでもあつたらうか。この會でお目にかゝつたばかりではもの足らず、明けての年の春の休みに、水戸のお住居まで出かけて行つた。人通りも稀れな古風な上町のお住居には、先生様先生様云つてかしづく老婢さ二人、もの靜かに暮してお出で、當時すでに八十幾歳かであつたのに、猶ほ公の教育のお仕事があつたやうである。昔の幼稚園について何の知識も無い私が、唐突にお伺ひする數々を、遠い日の記憶をたぎつては話して下さつた。或は又書齋から、貴い記録を持つて來られたりして、一々答へて下さつた。梅林風に植え込まれた折柄盛りの白梅を、この師の庭にふさはしく眺めたのも忘れられない。

それからしばらく経つてから、重い書留の封書が届いた。すぐにそれは小西先生から知られたが、封をあけて見るに八王子の横河さんの御生家から、わざ／＼と寄り寄せて下さつた様子女史の履歴書であつたのである。

明治のにはひのする十枚あまりの美濃紙に書かれたこれで、様子女史の來歴は、いよく明確になつたわけである。早速小西先生にお禮のはがきを出すと同時に、手紙の方は大切に金庫に藏つておいた。

舊いこまにばかりに興味を持つまいふわけではない、明其舊而知其新のこまは持つてゐるつもりであるが、事幼稚園に關しては、そんな些細な歴史でも、記し止めておきたい云はゞ癖のようなものである。この癖は人に――こまに若い――強うべきこまではなく、獨り愉しむ方がいゝと思つてはゐるが、満更そうでもなくて、何か舊い記録なき手に入れて、見て頂くまなか／＼手應へのあるよろこびをして下さる方があつて、張合がある。倉橋主事はかねてから、幼稚園開設當時(明治九年)の文部卿田中不二麿氏の寫眞の無いのを惜しいと云つて居られた。つい近ごろ、これを野間、及川兩氏に話したまころ、この爲にいろ／＼手をつくして下さつたので、うれしくもあり感謝もしたこまであつた。

九十二歳の豊田先生が御健在で、かうして問ふこまに答へて下さる。小西、氏原その他の先生方はまだ／＼お若い。幼稚園が、かういふ高齢の方々を持つこまを、一人だけで楽しんでゐるに忍びず、ひろく皆さん方にもお知らせしたくて、ここに記したわけである。この方々がいよく、末永く健在でお出でのこまを、さうぞ皆様も祈つて居ていたゞきたいま切に思つてゐる。

# 兒童心理學文獻抄 十七

牛 島 義 友

## 童 話

子供は話が好きである。手に負へないいたづらつ子も「さあこれから御話ですよ」云へば急においたを止めて先生の周りに集り、眞妙な顔付をして先生の口元を見詰める。

又先生やお母さんの御話を聞き度がるのみならず自分もよく話し、熱心な聴衆を要求する。生半かな返事や、他事に心が奪はれて居るご何度も大きな聲を出したり、衣服を引張つて聴手の注意を惹いてをいてから語り出す。お話こそ子供の内生活と外生活との通話器であり之によつて子供は智慧付き、想像力を養つて行く。又子供にお伽噺を語る事は古くからの習慣でプラトンは其國家論に於て神話を物語る事によつて子供を教育せよと説いて居る。

故に子供の聞き度がる話即童話を研究する事は子供の表象世界を知る上からも、又子供を正しく導いて行く上からも、必要な事である。ヴントは童話の特性として三つのもを上げて居る。

- 一、誇張性 遠いく國、小さい一寸法師云ふ風に距離、量、大さ等は極端に誇張されて語られる。
- 二、恐怖、歡喜を起さすものが好まれる。巨人、一寸法師、魔法使ひ、猛獸、お姫様、妖魔等極端な快、或は不快の感情を喚起させるものが登場する。
- 三、奇蹟、魔法を喜ぶ。

斯様な特性を具へた童話は大人の喜ぶ小説や戯曲と大分趣が異なる。此童話を分析して行くご興味ある研究が出来そうである。日本民族の有じて居る様々の物語から日本精神

の原始的形態が闡明されるであらう。併し茲ではグリムの童話を中心として行はれたビュラー夫人の優れた研究を紹介しよう。

ビュラー 兒童のお伽噺の想像 Ch. Bühler: Das Märchen und die Phantasie des Kindes. Beihefte z. Zeit. angew. Psychol. 17 1918

女史は先づお母さん達へ子供がどんなお伽噺を好むか、其好みは何時頃から生じ、又消滅したかを質ねたのであるが、其結果獨逸の上流の子女では四歳から八歳までがお伽噺の時代であるが、中流以下の處では、十二、三歳になつても尙お伽噺に熱中してゐる子供が多い由である。故に此お伽噺の時代は精神發達の一時期であつて何人も此期を経過するが、他方餘り久しく此時期に止る事は感心しない。

子供はいきなりお伽噺を好む様になるか云ふにそうではなく、其以前に Struwwelpeter 時代とも名付けられる時期がある。之は三四歳の幼兒の好む書物の名前であるが、梳らない亂れ髪の子云ふ意味で幼兒の日常生活に關した色々な事、食事や遊びや睡眠に關した事が面白く物語られ

て居る。此頃の幼兒は毎日の習慣的出來事、お言付け等に關心して居るので、之に關した話を好む。自分と關係の無い様な話には注意せず、「次郎ちゃんと同じ位の或子供が」云話し始める云興味を持つ。或お母さんは「うちの子供は私が自分で考へ出し乍ら子供と結び付けて話をする云喜んで聞きます」云語つて居る。例へば子供が冬になる云手を暖めないので凍傷になつて困るので次の様な話をしてやつた。「次郎ちゃんと同じ様にいつも外に遊びに出てはお手を冷してゐた爲にお手が凍つてしまつた子供がありました。或日の事お父さまが御褒美に大さう甘しそななお菓子を下さいました。手が凍つてゐるので擱む事が出来ませんでした、それで妹の花子ちゃんが喰べてしまひました」此話を子供は大さう興味を以て聴き、其後は手を冷す悪い癖が治つてしまつた由である。

次にお伽噺の時代になるが、今度は狭い日常生活から離れた思切り自由な想像生活を樂しむ。此時代は更に次期のロビンソン・クルソー時代と較べるに一層特色が明かになる。お伽噺では小人が現れたり魔法を使つたりして自然

の法則が全く無視されて居て、非現實的であるが、之に較べるに次の時代は現實的要素が多くなる。今までの様に遠く北の國等云ふ代りにイギリスから何百哩離れた大西洋上の何某云ふ孤島で云ふ風に地理的規定が明瞭になり、無人島で色々工夫して家を建て、道具を作り、狩をする事に、即ち魔術によらず科學的工夫をなす事に非常に興味を感じる様になる。又お伽噺の世界では馬鹿な息子でも主人公として登場し、他の援助によつて偉くなるが、次の時代には必ず偉い賢い英雄的なものが現れる様になる。之は子供の精神發達に關聯して居て小學校三四年から中學一年頃までは非常に現實的、客觀的になり、空想的なものを嫌つて機械いぢりが何より好きになる。

併し今はお伽噺の時代を考へよう。先づ登場人物から考察する。主人公は普ら子供自身である。結婚したりするが、飽くまで子供らしく振舞ふ者である。而して農夫の子か貧乏の子供か或は王子様だつたりするのが普通である。子供に動物、或は石炭さか藁等の無生物も現れて來り、而も人間同様に話をし振舞ふ。又魔術者、一寸法師、巨人も

つきものである。斯る人物の性格は極めて典型的である。善いお爺さん、悪いお爺さん、美しい姉、醜い妹、賢い人、愚い人、怠け者、働き者云ふ風に對極的に現はされて居る。斯る性格描寫は最も原始的な方法で、物の特性を示すのに其反對物を持つて來るのは最も容易な方法である。大人の小説に於ては個性が描れて居るがお伽噺では斯く唯類型が現はされて居るだけである。

次に斯く相反した人々は結局は善が惡に勝ち、正直が報ひられる様になる。即ち茲に子供の樂天觀が現れてゐる。所謂悲劇は子供には存しない。此歡喜懲惡には魔物が重要な役を占める。魔物は動物又は人間であるが其姿は奇異であり、其行爲は奇蹟的である。此魔物は常に切端詰つた時に現れる事になつて居る。故に魔物がお伽噺では話の中心となり、最も興味を惹くものとして現れて來る。

次に環境の描寫を見るに、王宮、小人國、黒い森等が多いが一般に環境の描寫は非常に簡單で、必要な場合にのみ述べられる。此點は大人の小説と全く異なる。近代小説には環境描寫が非常に詳細で、此環境の中に於て事件が合理的



に展開する。然るにお伽噺の世界では常に非合理、奇蹟が行はれるので環境は餘り問題にならない。乞食娘が一躍して女王様になり、而も今までの乞食として自分の身に少しも影響されなくて女王になりすませる。此事は子供の持つ社會關係の意識が極めて簡單である爲で、斯る變化に對し不快な奇異を感ずる事無しに樂しめるのである。

グリムの童話では特に森がお伽噺の國になつて居るが、奥深い森林こそが最も自由な想像を馳らしめる場所であるからである。

次にお伽噺の出來事をみるに色々な事柄がある。イ、奇蹟(魔法をかけたたり、かけられたり)。ロ、英雄的行爲(力試し等)。ハ、結婚とそれに伴ふ冒險。ニ、智慧。ホ、其他命令の遂行、豫言への反抗等、種々あるが就中奇蹟的行爲が中心になつて居る。子供は何故奇蹟を好むか考へるに、第一に表象の變化を喜び、何か新しい事、珍らしい事を子供は人一倍喜ぶ爲であり、次に奇蹟によつて希望が自由に適へられる爲である。

事件の動きは氣まぐれであり、理由もなく他を征服した

りする。併し一つの事が起るに必ず其結果が續いて起り、善行に對しては賞として美しい女と結婚したり、富を得たり、王様になつたりし、悪い事をするに苦しめられ殺される。而して最後はハッピー・エンドに終る。

最後に事件の敘述法を見るに事件は個々の出來事として現れ、それが一本の線で貫かれて居る。全體を通して一つの豫言と命令、禁止が流れて居る。例へば山羊のお母さんが外出する前に七匹の子山羊に次の言付けをしてをく。

「子供等よ、これからお母さんは外に出て食物を探して來ますから、狼に氣を付けて居なさい。狼を家へ入れてはいけませんよ。狼は體を化かして來るから注意してなさい。併し其荒い聲と黒い足に注意すれば見破れます。狼が這入つて來たら皆喰殺されてしまひますよ」この警告から話が始まるが、此警告から何が起つて來るか直ちに期待されるので子供はこれ以上の説明無しに次々の事件を理解する事が出来る。

其他子供の喜ぶ形式は異つた形に於ける反復である。善いお爺さんが爲したと同じ動作を悪いお爺さんも做るこ

か、三人の人が同じ事を繰返して最後の人が成功する等の形式である。斯る場合には最初の人の行動によつて、次に來る人の行動が豫期されるので、其豫期通りになるに非常に満足するのである。

以上の如くお伽噺の人物、環境、事件、敘述法から考察するに大人の小説に子供のお話には非常に相違があり、子供の表象世界が明かに反映して居る。大人が考へた童話よりも昔から傳つて居るお伽噺の方を子供が喜ぶのは古代人の考方が子供の考へ方に近い爲である。此お伽噺の時代をビューラーは表象活動の自然的練習時代と云つて居るが、

此時には大人の作つた所謂爲になるお話よりも、子供の喜ぶお伽噺を思ふ存分聽してやる方がよい。非科學的になる等と心配する必要はない。其中に子供は斯る非現實的なものに飽いて、ロビンソン・クルーソーに執中する様になるであらう、其時こそ批判的思考の練習時代である。

以上は子供の聽く話であつたが、最後に子供の話をも聽いてやらねばならない。子供は非常に話し度がる。人から聞いた話、經驗した事件を全部話して了はねば承知しない。

彼は其心に浮んだ表象を吐出さないで腹が破裂しさうになるのである。普通三、四歳頃から語り始める。自分が聽いた話を一部分改めたり、挿入追加したり、或は全然別な話を創つたりする。五、六歳になるに自分の將來の事を話し始める。「大きくなつたら」と云つて色々な空想を述べる。併し初の中は明日と極近い將來の事しか述べない。過去の事を語る時によく子供は噓言を云ふ。併し之は強い想像力のために歪められた記憶であつて、大人の噓言とは全然異なる。之に就いては他日再び觸れる機會があると思ふ。

本誌前月號に於て廣告發表いたしました**幼稚園談話集**がいよゝゝ發行されました。皆様の座右に是非お備へ下さい。  
(廣告參照)

# 系統的保育案の實際解説 (二)

生活訓練	倉橋惣三
誘導保育案	菊池ふじの
唱歌遊戯	村上露子
談話	小島その
觀察	新庄よしこ
手技	小島光子
	及川ふみ

『系統的保育案の實際』は、東京女子高等師範學校附屬幼稚園の編になり、日本幼稚園協會から發行せられてゐる。

昨年七月以來、既に多大の部數が、全國保育界に普遍し、熱心なる保姆諸君によつて、研究せられ又實施せられてゐる。しかも此の保育案は、舊來の諸保育案、殊に單なる羅列的保育要目と全く異なり、幼稚園保育の本義に立脚して、幼兒の生活に出發し、生活に歸着する、生活系統としての新らしき保育案であるところから、その實施に於ても新らしい研究を必要とする。又、本保育案の各項に就き、尙ほ進んで詳細なる解説を求められることが尠くない。

本稿は、それ等の要求に對して同人相促し、分擔して各項の解説を試みたものである。説いて詳細を盡さないのは素より、私案私説、極めて熟せざるところが多いのを恐れる。たゞ、保育案の表示のみにては一層盡さざるを思ひ、これが理解を助け、實施上の便を加へ得んことを希ふてゐるのである。

尙ほ念のため附言するが、本保育案の本質的中心をなすものは、各項の内容よりも、保育案そのものゝ立て方にある。内容の選擇排列も亦、一々意を用ひたところであるが、保育案としての根本の建て前を離れては、保育としての活きたる意味が失はれる。従つて、『系統的保育案の實際』を絶えず傍に置かれることなくしては、本解説は正しき用をなすことを得ないであらう。

## 年少組、第一保育期

—満四歳から満五歳—

### 生活訓練

#### 第五週

だん／＼幼稚園には馴れて来る。氣候はいよ／＼よくなつて着物も軽くなる。幼児の元氣が目立つて見えて来る。そこで——それを抑へてはなしに——訓練もし、易くなる。

新入園そ／＼の子に、あの、さこさなく縮こんでゐる子に、訓練をしようとするのは大きな氣苦勞である。遠慮さいふではないが、氣がね、手控へは、さうしても已むを得ない。それが五月さもなれば、大分こつちもらくにやつてゆける。

人の話を聞いてゐる間、途中に口を挟んでものを言ふことは、悪いさいふではないが無邪氣な不作法である。無邪氣な不作法の多い日本人の風として、こゝにいふ處に訓練の

缺けてゐる人が、いふ年をした大人にも少なくない。一體人への話し方には相當やかましく注意する癖に、人の話の聴き方には不注意に過ぐる場合が多く、識らず／＼無禮さもなり不謹慎さもなるものである。しかも、今話しをしてゐる人の話を仕舞ひまで靜かに聴かないさいふ位、粗野な不遜な過ちはない。勿論、相手を無視してゐる譯でもない。人の話を聴いてゐる間に自分の頭にいろ／＼の思ひが湧いて来て、それが溢れて流れ出すのである。殊に幼児の場合なき全くそれに外ならない。しかし、それにしても、それではスキッチのあけつばなしである。また、子さもながらに、自分を差し出過ぎるさいふものである。

これも自分を差し出過ぎる一つとして、何ごさにも先き

を争ふさいふ傾向が出初める。元氣の子に無理からぬ勢をいへばそれに相違ないし、見てゐて威勢のいゝこゝでもあ  
るが、そこから、そろ／＼社會生活の訓練を與へる必要  
があらう。それが、お歸りの時に著しく、例の出口の込み  
あひを演じ出すのである。こんな時位、順々に靜かにさせ  
たからきて、老紳士を強ゆる譯にもなるまい。一體、お歸  
りさいふ時には、相當強く抑へて靜かにさせる必要がある  
ので、その一つとして當然である。又お歸りの時、ちよ  
つこ身の廻りの亂れを注意するこゝ併せてつきたい習慣で  
ある。なにも、おしやれの稽古ではない。たしなみは自ら  
心を落ちつける手段である。殊に、性質のガサツな、粗暴  
なこころのある子なご、お歸りの時、相當時間をかけ、や  
かましくも言つて、整容させるこゝは、外形の問題でなく、  
内の訓練として効果多いこゝである。

## 第六週

幼稚園の庭にはいろ／＼の美しい花が咲く。初めての幼  
兒にまつて、強い誘惑であるに相違ない。それを大切にさ  
せるのは、公德さか、植物愛護さかの前に、先づ我慢の稽

古である。幼兒にふさはしい自己抑制である。そこで、斯  
ういふ場合、花が取りたくなるならう心もちに先づ同情  
し、一應は是認(?)してかゝる位の態度があつてこそ、初  
めて眞に抑制に導き得るのである。先生だつて取りたい。  
が併し我慢するさいつた調子でゆくのである。初めから公  
徳論を持ち出すのは少々早い。まして、花なんかさいふの  
は、幼兒の心に觸れざるこゝ甚しい。それにしても、植物  
を大切にするさいふこゝの全體の氣分は、先生自身の其の  
心持から傳へられるこゝで、それがなくては、たゞ規則  
になつて仕舞ふ。心持の訓練は、心持でなければ出來な  
い。

椅子に正しく腰を掛けるさいふこゝは、小さいこゝのよ  
うであるが、形の作法よりも、それから及ぼす仕事への氣  
分の影響が大きい。腰かけ仕事さいふ言葉があるが、あれ  
は、座はるこゝを本位としてゐる日本人として、腰が浮い  
てゐては本氣でない。本氣になれぬさいふのである。しか  
し、椅子にだつて、しつかり腰をかければ、落ちつきも出  
來、力もはいる。それを、半がけ、横がけ、浮かしがけ、

さいつたこきをしてゐるさ其の癖がつく。まつ正面に、深さかけて、脊骨をまつ直ぐに、後ろへきちんまつつけて掛ければ、自然肩をそろい胸も張る。之れは單なるお行儀の稽古でなくて、精神である。殊に、そはくさ落ちつきのない子なき、此の注意をしつかりする必要がある。正しく腰掛けるこきは、正しく心を据えるこきである。仕事をしつかりするこきである。その意義は相當深い。

名を呼ばれた時明瞭に返事するのも、たゞ形の上の丁寧さばかりでなく、その次に來る話なり仕事なりへの、確實な態度を極めるこきである。相手たる先生への禮儀さいふよりも、幼兒自身の心のしまりである。従つて、返事のよく出來ない時でも、それを無禮さとして叱つたりするよりは、もう一度、しつかりさ呼んで、活を入れてやるさいつた調子がいゝであらう。そうしないさ、お返事ばかりよくして、仕事には氣は入れないさいつた風の悪い癖がついたりする。最もよくない癖である。

更春五月、ボカくさ暖い。氣も浮きくさする。しつかり腰を落ちつけさせ、しつかり應待もさせて、生活を緊張

させるこきは、蓋し、大きな訓練である。

## 第七週

だんく、室内の作業も多くなつて來る。その切り紙の層なきを、そのまゝ床に散らしつばなしにするこきは、ふしだらの一つである。机の上に共同の籠なり箱なりを置いて、切り屑をそれに入れさせるのがいゝ。つまりは、もの始末の稽古である。しかも亦、洋風生活での床さいふものに就て、今まで何も訓練されてゐないのであるから、それは外の地面さ一つではないさいふこきを教へてもやりたいのである。さうも、今日相當洋風生活が行はれてゐるのに拘はらず、床を正しく知らないのは大人にもある缺點である。會堂の床、劇場の床、電車や汽車の床、みんな少しも床さして意を用ゐない。甚しい粗野亂雑な扱ひをして平氣でゐる。それは、是非直したい悪習であり、幼い時から早く訓練する必要がある。紙屑位散らしても後で直ぐ掃除すればよいさいふが、そこがもう誤つてゐる。普通の座敷で、疊の上をそんなに散らかして平氣のものはあるまい。

すべて整頓の訓練は、一度散らかして置いて後から整頓

するのではなく、初めから不整頓をせぬやうに習慣づける  
こゝが肝要である。紙屑を散らして置いて、掃除するの  
でなく、初めから散らさぬやうにするのもそのためである。  
そんな心を使つて居ては仕事が出来なからうといふ論も  
出るかも知れないが、そこが習慣である。習慣さへつけば、  
おつくうでもなく、面倒でもなくなる。識らずく切屑を  
籠の中へ入れるようになる。

## 第八週

辨當のこゝに就ては、既に第三週に大體の注意が行はれ  
た。こゝでは、更に進んで、多少こまかい注意に及んで  
ゐる。つまり、食事の作法である。さて、こゝいふ習慣は、  
家庭でつけようとしても中々むづかしい。ひさりだからで  
ある。幼稚園では仲間がある。その社会的影響で比較的ら  
くに習慣づけるこゝが出来る。それにしても、保育室以外、  
別に食堂をもつてゐる幼稚園があつたら、眞に羨望にたえ  
ないこゝである。今まで仕事をしてゐた保育室を片づけて、  
そゝでお辨當といふのでは落ちつきがしつこりいかな

い。せめては白布でもかけたが、それも毎々よこされる  
ので行はれ難い。たかゞ花でも持ち出し置き添へて、食  
卓らしくする位のこゝで、その點、幼稚園のお辨當は、も  
う一步工夫を要するこゝが多いであらう。

この週に於て、保育室の裝飾の手傳ひといふこゝが初め  
られる。幼稚園といふ集團生活のために積極的に働くこゝ  
ふ訓練の最初である。しかも、こゝいふこゝは、幼児が案  
外喜んでするこゝで、殊に女の子なぎ、われ勝ちにこゝ手柄  
めかしく立ち働いたりする。可愛いゝものである。たゞ、  
中には、さんさ不精な子もあり、そんなこゝは人のするこ  
ゝ極め込んでゐる若殿様もある。そんなのにこそ一層働  
かすがいゝ。コロンピヤ大學幼稚園のコンダクトカリキュ  
ラムの中では、こゝいふ仕事は保育要目として重んじられ  
てゐるこゝいつてよい。訓練といふも、何々せぬこゝ、何々  
しない習慣といつた風の消極的のこゝが多いが、斯うした  
積極的行動の習慣も大に奨励されなければならない。

## 誘導保育案

### 第八週

#### 汽車

この頃になると、馴れ慣い子供が數人、先生を離れない位で、他はみんなお友達同志遊び合ふ様になるのが常である。簡単な保育項目の繰り返しだけでは、何だか物足りない空虚さを感じやしないか云ふ氣がして来る。そこで、こんな主題の下に計畫して見る。當園の各保育室に、幅一メートル、長さ一・五メートルのサンドボックスが備へてあるので、之を用ひる事にしたが、何も斯様なものをわざわざ取り揃へるには及ばない。砂場を一寸、この目的の爲に使用しても可、又相當の大きさの箱があつたら、それに砂を入れて利用して結構。

この箱に砂を運ぶだけの事にでも、子供達はぎんなに悦ぶか知れないのに、こゝへ野原を作つて、山を作つて、トンネルを通して聞いたら、大人なら手を取り合つて飛び

上る所だらう。

あまり参加者が多くて調整の必要が起るだらうと思ふ。

そこが多年經驗を積まれた先生の腕云ふもので、砂で、野原、山を作るもの、粘土で、レール、汽車を作る者云ふ工合に、二つ位の大きなグループに分けてもよいと思ふ。先生がこの兩方を馳け廻つて、ちよつちよつ指導を與へ、更に子供等の出来ばえ、語り合等によつて充實指導を與へる機會があらうと思ふ。第一日は先づこの邊までこして置く。

ついで、出來た砂箱に、片方、粘土で作つた汽車、レール、電柱、人等を、子供等と協議鹽梅して配置する。この配置は餘程氣を付けなければならぬと思ふ。あまりこらぬ様に、丸で大人の盆景にならぬ様に。相手が五ツか六ツの極く幼い人である云ふ事を始終念頭に置き子供の動きを主にしなければならぬ。

雑草を採つたり、小石を集めたり、人を立たせたり、い



ろく／＼の、誰にでも出来る様な仕事が残つて居るので、活動しない人等に、退屈がらせずにこの仕事に参加させる事が出来る。

枯れた草を植えかへたり、趣向をちよく／＼變へて見た

### 唱歌遊戯

#### 第五週

唱歌 三回

ママゴト(エホンシャウカ)

女の子に歌はせる。これは殊に元氣一杯な男の子で、友達同士で砂場等で面白く遊んでゐる様なのを、無理に呼んで来て教へる必要はない。

遊戯 三回

ママゴト(戸倉ハル氏振付)

女児だけでして見るのもよいだらう。

汽車が走る(三浦ヒロ氏振付コードモノ遊ビ参照)

り、珍しがつて眺めたり、いじつたりで、この仕事の繼續時間は一週間位は充分つゞき得るであらう。

これの期待効果は、共同的計畫作業への導き入れ、ミ、手技。

子供たちの自由な表現にまかせ、適當な指導に依つて、いくらでも面白く發展させる事が出来る。

然し年少組の最初は、圓形の儘で所々に二人宛手を連いでトンネルを作らせ、シュツ／＼／＼／＼云ひながら手で車輪の廻る様子をして馳け出す程度。

だん／＼慣れて来るミ、車掌を定めて、發車の合圖ミ、停車場に着いた時に(曲の終つた時)驛名を呼ぶ様にするミ興味が多い。男児が好む遊戯である。

#### 第六週

唱歌 三回

タンポポ(エホンシャウカ)

可愛いたんぽぽの咲いてゐるころを是非見せて置き度  
い。たんぽぽの綿毛をきつて、ふつミロで吹いて見る。  
風に乗つてふわ／＼飛んで行く様子等をよく見せてか  
ら、この歌を歌ひたい。

### 遊戯 三回

かはい、こまざり(三浦ヒロ氏振付、コドモノ遊ビ参照)

可愛いこまざりの様子を表はして、子供たちにも自由な  
方向に飛んで行く様にする。年長組になつてからも、こ  
のこまざりの曲を弾くミ、待つてゐましたこばかり、急  
に活氣ついて、楽しさうに思ひ／＼に好きな方向に飛ん  
で行く。

いつも遊戯の終りにするスキップの代りに、一人か二人宛  
このこまざりをしながら、遊戯室を一廻りさせてもよい。  
この機會を捉へて、自由表現をさせて見やう。曲は適當  
なのを選ぶとして、例へば、「鳩ポッポ」。

「みんな可愛い鳩ポッポになります。」

ミ先生も一緒になつて、みんなに鳩ポッポの様子をさせる

「さあ／＼豆を撒きますよ。ほーら食べにいらつしやい。  
澤山召し上れ。」

「もう日が暮れますから、早くおうちへ歸りませう。」

ミ先生が招く方へ、急いで羽をひろげて飛んで行く。

「夜になりました。みんなおねんねませう。」ミ云ふ様  
にして導びくミ、子供たちは本當の鳩ポッポになり切つ  
て、めい／＼が可愛い表現をする。

### 第七週

唱歌 二回

復習

遊戯 三回

ボートレース(幼児の教育三十四卷第六號参照)

みんなの喜ぶ競争遊戯。先きに二三回年長組の子供たち  
が、夢中になつて競争してゐる所を見せてもらふ。

海(土川五郎氏振付律動遊戯参照)

### 第八週

唱歌 二回

チューリップ(エホンシャウカ)

もう前から、お部屋の花瓶に生けたり、植木鉢ではお馴染のチューリップではあるけれど、幼稚園の花壇に咲き揃ふまで待つ。自然に歌詞の氣持をはつきりミ味はふ事が出来るまで。

兵隊さん

これは歌詞も曲も、子供の心にピッタリ合つた氣持のよい歌である。

遊戯 三回

チューリップ(記事参照)

花の咲き揃つた喜びを表はし、軽やかな氣持で動作をする様に。

兵隊さん(記事参照)

歌詞も曲も動作も、よく子供に合ふので、みんなの好きな遊戯の一つである。元氣よく、きびくミ動作を揃へてする様にしたい。

かはいこまどり

The musical score is for the song 'かはいこまどり' (Kahai Komadori). It is written in 2/4 time and the key of D major (one sharp). The score is presented in three systems, each with a treble clef and a bass clef. The melody is primarily in the treble clef, while the bass clef provides a steady accompaniment. The first system has four measures, the second has four measures, and the third has four measures, ending with a final cadence.

かはいこまどり



2.



3.



4.



5.



かはいこまどり 三浦ヒロ氏振付

準備 各々自由な方向に進む。

1 第一小節より第四小節まで。

手は羽の様に左右にのぼし上下に振り乍ら、自由な方向にスキップでこんで行き、最後の小節で止り其處に踞む。

2 第五小節より第六小節まで。

踞むだまゝ手を胸にくみ頭を左右に振る、(一小節に左右各々一回づゝふる、即ち二小節間には左、右、左、右をふることになる)

3 第七小節より第八小節まで。

踞むだまゝで頭は動かさず、胸にくむでゐる手を體の兩側から後にのぼし、曲に合はせて羽の様に三回動かす。

4 第九小節より第十小節まで。

第五小節第六小節に同じ。

5 第十一小節より第十二小節まで。

第七小節より第八小節までに同じ。

以上を何回もくりかへして行ふ。

チューリップ

サイタ サイタ チューリップ ノ ハナガ  
ナランダ ナランダ アカシロ キイロ  
ドノハナ ミテモ キレイダ ナ

準備 圓形を作り内方を向く。

チューリップ 戸倉ハル氏振付  
エホンシヤウカ

サイタサイタチューリップノハナガ

兩掌でチューリップの花の形を頭上高く作り乍ら、軽く小さきまみに自分の周圍を一周

して最後に花を作つたまゝで踞む。

ナランダ

手はやはり花を作つたまゝで、立つ。

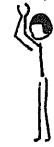
ナランダ

そのまゝで踞む。

ダンラナ



ダンラナ



ガ



ナハノプツリウエチ タイサタイサ



ナダイレキ



モテミナハノド



ロイキ



ロシカア



アカシロ

そのまゝで立つ。

キイロ

踞む。

ドノハナミテモ

立つて、サイタサイタ……の時に同様の動作で自分の周囲を一周する。

キレイダナ

圓の内方を向き立ち、拍手五つ。

# 兵隊さん

テッ ボウ カツ イダ ヘイ タイ サン ア シ ナ ミ  
 おま まに のつ たー へい たい さん すー な を

The first system of music consists of three staves. The top staff is the vocal line in G major, 2/4 time, with lyrics written below it. The middle and bottom staves are piano accompaniment, with the left hand playing a simple bass line and the right hand playing chords.

ソロヘテ アルイテ ル トトコカ トトコカ  
 けたてて かけてく る はっ はか はっ はか

The second system continues the melody and accompaniment. The lyrics are written below the vocal line. The piano accompaniment maintains the same rhythmic pattern.

アルイテ ル ヘイ タイ サン ハ キレ イダ  
 かけてく る へい たい さん は いさ まし

The third system of music. The lyrics are written below the vocal line. The piano accompaniment continues to support the melody.

ナ ヘイ タイ サン ハ ダイスキ タ  
 い へい たい さん は だ い す き た

The fourth and final system of music on this page. The lyrics are written below the vocal line. The piano accompaniment concludes the piece.

ルテイルアテヘロソ ミナシア  
ルテイルア コトットコトット



ンサイタイヘ



ダイツカウポッテ



ダ



キスイダ



ハンサイタイヘ



ナダイレキハンサイタイヘ



ダイスキダ

に戻る。

やはり拍手し乍ら、今度は後方に向つて、後すざりに歩き元の位置

ヘイタイサンハ

圓の内方を向き、中心に向つて拍手し乍ら進む。

ヘイタイサンハキレイダナ

手はやはり前のまゝで圓周にそつて元氣に歩く。

アシナミソロヘテアルイテルトットコトットコアルイテル

手は前のまゝで右向けをし足ぶみ三回。

ヘイタンサン

足ぶみ力強く二回。

右手を肩にかけて鐵砲にし、左手でその右手の腕を支へるこ同時に

テッポウカツイダ

準備 圓周を作り内方を向く。

兵隊さん 戸倉ハル氏振付  
新訂尋常小學唱歌



ルケテケカ テテタケヲナス  
 ルケテケカ カバツバカバツバ



ンサイタイへ



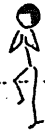
タツノニマウオ



ダ  
 キスイダ



ハンサイタイへ



イシマサイハンサイタイへ



オウマニノツタ

拍手してゐた両手を胸にあて、すぐに萬歳の時の様に上にあげる。

両手を掌を下にし前にのばし、軽く握つて手綱を持った様子をす

る。同時に足ぶみを力強く二回。

へイタイサン

右向けをし、手綱を持った形のまゝ足ぶみ三回。

スナヲケタテテカケテクルバツバカバツバカカケテクル

手は手綱を持つたまゝ圓周にそつてスキップで行く。

へイタンサンハイサマシイ

第一番のへイタイサンハキレイダナの時と同じ動作を行ふ。

へイタイサンハダイスキダ

第一番の時と同じ動作を行ふ。

第五週

五月は月の始めにお節句がある。人形の飾られたお遊戯室にみんなが集つて、おはなしをきいたり、遊戯を見せて貰つたり、自分達もピアノに合せて唱つたり、遊戯をしたり、さうやら一かぎ組としての責任をおふせられて、室にかへれば、一人づゝへのお菓子が待つてゐる。思ひがけない嬉しさ。何さなく楽しくもあれば、いよいよ安心もする、こゝろも弾む。

こんな事でもあれば、いよゝいつ迄もだまつてはゐられないで、又聞いてばかりゐられないで、互ひに話しが始まる。そこで、先生から與へられるおはなしを聞いてゐるこゝろいふ受動的な立場ばかりでは面白くなくなる。自分達も何か言葉にあらはして云つて見たい、云はせて見たい、斯ういふ機會を與へるこゝろを保姆は考へねばならない。一日中に一人づゝ萬遍なく話相手になつて居られゝばいゝが、ま

だ片方に手のかゝる子が二三人もあるとするこゝろ、ついその方にかゝつてしまつて、或る子は無言で登園して、無言で別れてしまつたさいふ事が無いこゝろ限らない。

この入園後一月位たつてから、もうそろゝ口をきく子、きかない子を見出して、口をきかない子供へはいゝ對策をこつて行かなければ、間に合はない。

この話したい心を満足させるためこゝろ、口をきくのは厭だけれども、皆こゝろ一緒なら云へるこゝろいふ子供のために、こゝろ短い詩の吟誦をする。

雨(吟誦)

雨はきこにも降つてゐる

家にも木にも降つてゐる

傘の上にも降つてゐる

海の船にも降つてゐる

この詩は、ごく短いこゝろ、雨が子供に親しいこゝろ、情景が

すぐ浮び出るこゝ等で最もいゝ材料である。

これは英國のステブンスンの有名な詩であるこゝは周知のこゝであるが、この譯し方がいゝ。同じ原詩でも

雨が方々に降つてゐる

青い野原に木の上に

こゝちやぼくらの傘の上

あすこの海ぢや船の上

こゝ譯したのもある。これでは幼稚園のあの年齢の子供には使はれない。前者に譯したわが國の詩人に、今更のやうに敬意を拂ひたい氣持だ。

さて、雨の降つてゐる日に、みんなを先生のまはりに腰かけさせる、幼児の方からは降つてゐる雨がよく眺められる位置に腰かけて。

「今日は先生が、雨のうたをよんで見ますから、聞いて居て下さいよ、靜かに聞いてゐて下さいね」

こいふ。いつものやうにお話しながら思つてゐたのに、今日は違ふのだと云つた表情で目を腫る。聞かうとして待つてゐる状態になつてから始める。

雨はこゝにも……

……

こ聞かせる。二度三度、靜かにはつきり繰り返して、全體の情景を幼児の心の中に浮びあがらせる。

しばらく間をおいてから、

「ではみんなで一緒に云つて見ませう」

こ云つて、一句づゝ先生と一緒に暗誦し、最後に全部をつゞけていふ。先生は少し早いめ早いに、子供がまごつかぬやう先がけをしながら。

一日おいてからこれを再びする。先生は段々小さい聲で時々援ける。そこで發表力もあり、記憶もたしかなと思ふ子に一人で云はせて見る。

吟誦用の詩は、選ぶのになか／＼見當らない。雨の詩も長い間つゞけて來たので、何か新らしいものをこ思つて、探して見るけれど、この詩はこ幼児向きで、香氣の高いものはめつたに無い。唱歌にしても、おはなしにしても、このやうに永遠性のあるものが時々あるものだ。用ひる度にいいなこ思ふ。

きつつかうかうつつかうか

正直なお爺さんには小判がくつつき、悪いお爺さんには松脂がくつつく、行爲の正邪よりも、きつつかうか、くつつかうかの發音の繰り返しによつて面白く話す方がいゝ。

花咲爺(人形芝居)

日本昔噺の一つ、花咲爺は人形芝居で。但し。人形芝居では、あの話の始めからの筋を、その通り演じてはゐられない。舞臺で見るところは、花を咲かせるのが主なるので、大てい殿様のお通りから始る。するさ、一人のお爺さんの花はバツミ美事に咲き、一人のお爺さんのは、さうしても咲かない、咲かないばかりか、叱られて、お咎めを受ける。これを幼兒は熱心に見てゐる。

年長組にもなれば、わけはわかるが、前の因果關係がわからないで、片方だけが悪い結果になるさいふのは、その場面だけ見てゐるさ、さうかと思はれる。殊に年少組の最初に見る時、筋の前提なしでいきなりでは、一寸不安に思はれる。

それ故、この芝居を見る前に一度、話して聞かせてお

て、正直爺さんの花の咲く所以を知らせておく方がいゝ。

さうかするさ、わかり切つてゐる筈と思つてあんまり氣にも止めないさがある。それがかなり大事なさで、そこから始めないさ、單純な幼兒の心を混亂させるさがある。あさで氣がつく事が往々ある。

## 第六週

赤ん坊爺さん

若くなる水を飲んで、たうく赤ちゃんになつてしまふ、これもわが國昔噺の一つ。

四季について

世間ばなしをそろく始める、何でもいゝ、例へば、今朝は大變電車が混んで、やつミ幼稚園まで来たさか、途中で可愛いゝ小犬にあつて、一寸撫でゝ来たさか、大したさで無いさ話をす。子供の方でも、そんなさなら私も話したいさがあるさいふわけで、今日はお兄さんの學校の運動會で、海苔巻きのお辨當ださか、昨日の歸りに祖父様のお家に寄つたさか、話し出す。こんな世間ばなしをし

「今日は何日でせうね」ときいて見る、まだ知つてゐる筈はないから今日は五月何日と云つて、子供にも云はせる。それから一月 二月 三月……、五月以外の月を云はせる。そして、今は春で、もうすぐ夏になることを知らせる。たゞ春、夏と名稱を云つてもわからないから、お正月の寒い時、雪の降る時とか、あついで頃海に遊びに行く時とか、おぼろげながらも経験をたざらせる。

この後も折々話の始めなごに月或は、春夏をきいて見る、急がないで修了迄の間にくり返してゆく。

## 第七週

### 三匹の小豚

有名な話であるから、今迄に聞いて知つてゐるもの二三あると見て。取扱上特別なことは無いが、最後に煙突から飛び込んでしまひました位に止めて、焼け死んだまでは云はない方がいゝ。一度に限らず、この後二三度する。

てんこむし(吟誦)

やはらかい緑のクローバーの葉かげに、又はバラのつるに、てんこむしは寶石の一粒のやうに、まんまろく静止し

てゐる。小さい手がそれへスツツのびたと思ふと、眞赤な寶石はバツと飛ぶ、漸く揃えて、掌の上に乘せれば、又静止してゐる。愛すべきてんこむしは、この頃庭に出た時の子供のよろこびである。てんこむしのうたは、折からこの興味に合つて、案外早くおぼえこんでしまふ。

てんこむし

たばこの好きな爺さんが

廣い野原の真中で

マツチをなくして大さわぎ

見ればさいわい足もこの

草の葉つばに火が燃える

爺さんあはて、腰まげて

煙管の雁首もつてゆきや

大事な大事な火は消えて

バツと飛び立つてんこむし

眞赤な眞赤なてんこむし

東郷元帥

五月廿七日、海軍記念日に、日本海々戦の話は年長組に

して、年少組では、海軍の偉人東郷元帥の話をする。寫真

を飾つておいて。

## 観 察

### 第五週

かめ

子供達も大體慣れて恰らの生活が出来る様になるこのごろは、一方その度を越した男兒が表れる様になる。その時分動物を飼ふこゝまは何かいゝものである。

町にもそろ／＼龜を賣出す様になるからそれを二、三匹買つてくる。或は金魚屋にたのんで持つて來て貰ふ。理科材料店にたのめばいゝがそうしなくても手近に得られる。この龜もあんまり大きくない方がいゝ。保育室で飼ふには水槽又は水盤におたまじゃくしを飼つた時の（前號年長組参照）注意を同様にすればよい。言ふ迄もなくこれは爬虫類で、多くあるのはくさがめ（いしがめ科）である。かたい甲にさわつて見させるもよいが力を入れておさない様に、小魚なき時々與へる。みてゐればあきずに面白い。切紙、

自由畫、ぬり畫等ひこりに子供は表現しやうこするであらう。

### 第六週

小鳥

お庭にある小鳥の家を訪ねるのは始めてゞはない。殊にまだ先生の側を離れられないこゝまにまつては寧ろ行き慣れたところであらう。毎日の様に聲を聞き、餌を啄むのも見てゐる、が氣を附けてよく見てゐる子供達許りこは限らない、そこでみんなで小鳥小屋を訪れるこゝまにする。ちやうぎ巢に入つてゐるのがあつたりすればよい機會である。それにしても手ぶらで行くよりお土産があつた方が、それも子供達と一緒に摘んだはこべなんかであり度い。そのお土産をやり乍ら、ごんな鳥がるるか簡単な特徴を注意す

る。その各の名を覚えさせ様をしないで問ひに答へる。色はめい／＼に言はせ、何が何羽ゐるか等數へさせてみる。形、聲などそれからそれへ話し合ひ乍ら、その緒口をさらへひき出してみる、こうしてみるに私達よりも子供達の眼の鋭さに今更驚くであらう。

## 第七週

朝顔のふた葉

第三週にみんなで蒔いた種子はもうみんなそれ／＼違つたふた葉を出してゐる。朝顔に限らず、蒔いた種子の成長を観察するのである。雨上りの朝なき殊に花壇や鉢を見舞ひ度い。細い葉、厚ぼつたい葉、丸い葉、又第二第三の葉や、莖の成長を、砂遊びで汗びつしよりの顔や手を冷し乍らなごの機會に眺めやう。

てんみう蟲

バラの垣根にふみみつけたてんみう蟲、小さく、丸く、はでな水玉模様の衣装で、小さな蟲を始めて注意するには實に魅力的な蟲である。みんながみつけたがる。そうしてみつたのは、何も蚜蟲をさる益蟲だからと言はなくてもよ

いがつぶさない様に氣をつけさせる。星の數や衣装の色をみさせ、後でクレオンで書かせてみても面白い。

普通にある種は「てんみうむし」(橙黄色の鞘翅に十九個の黒斑點又は體黒、二個乃至十二個の黃褐斑點のもの等)しらはしてんみうむし(小形のもの橙黄色の鞘翅に黃白色の點十二個)をほしてんみうむし(橙黄色に十個の黒紋、草食性)なほしてんみうむし(橙黄色に七個の黒紋、おほてんみうむし、ひめあかほしてんみうむし(紅色紋二個)等である。

## 第八週

あやめ

今頃の保育室を飾る日本の花として代表的なものである。言ふ迄もなく鳶尾科植物、多年生草本である。この花ではこのやさしい名を、紫色を注意する位に止めて置く。

乗物(繪による)

實物でない觀察はこゝで始めて出てくる。私達は實物觀察を保育項目に於ける觀察と言ひ度い。しかし繪の觀察に

意味を含めてこゝに入れるので、決して實物が手近にないから、況んや集めるのが面倒だからの爲ではないこゝを辨解でなく斷つて置く。

繪を見るのである。觀察だからと言つて科學的分析的態度をのみ強要しないで全一的に繪きしてもみるのである。理窟はさも角、雨の日の午後のひまゝき、今迄み古した繪

## 手 技

### 第五週

自由畫 自在二回

缺仕事 チューリップ

赤、白なごの單純な色のチューリップを一二本小さな花瓶にさして、保育室におく、これを見て、各幼児に模造紙でこの切り紙をさせる。葉は一二枚きらせて花ミ葉ミ適當の位置に保母がはりつけて、莖はクレヨンで幼児にかゝせる。

幼児自身で、はじめて實物の觀察をして、これを表現す

本の中から「みんなで乗物を集めませう」と集めさせる。話し合ひ乍ら種類、形、なご観る。そして出来るならそれを切り抜かせる。(勿論切つてもいゝものを、そしてそれに依つて本を粗末に扱ふ習慣をつけぬ様充分注意して) 切つたのは一枚の紙に位置よくはりつけてみる。こうしたなら古い本もきつゝこんな更生を喜ぶであらう。

るのであるから、保母の方であまり期待を大きくせず、花らしさ、葉らしさがあらはれてあればそれで、満足すべきである。尙各幼児自身のこの結果に保母が缺なき入れる事は絶対に禁物である。

もしこの場合にこの花の表現が出来ない幼児には保母がごくく簡單な形のものをつつ切つて見せ、その表現の様子をしらせてやるのも一方法である。

ぬりゑ カメ

これは黒のクレヨンでぬらせてもよいのであるが、出来



れば墨で毛筆でぬらしたい。二三人づゝ交代に筆をさらせて静肅にしてかゝせる。

## 第六週

自由畫 自在 一回

りんご 一回

りんごの實物を用意してよく觀察させておいて幼児の自由にかゝせる。

粘土 りんご

自由畫の時のりんごをそのまま翌日使用して粘土でりんごをつくらせる。柄は木の小枝を短くおつてさしこむ。

鉄仕事 ひなげし

前週のチューリップ同様に小瓶にさしたひなげしの花を見、又は花壇にさける花をよく觀察させて切らせる。

ひなげしは切花ミして賣つてゐない花であるから秋蒔ものミして前年から心がけて植えておくミ誠に好都合である。

チューリップ ひなげしなごゝ必らずしも限られてゐるわけではない地方によつて適當の草花があればそれを用

ひればよい。要は花の形や、葉の形、大きなぎが幼児が觀察して、容易に表現の出来る材料であれば足るのである。

参考までにひなげしは移植の出来ないものであるから、みかん箱、石油箱の空箱に土を入れて秋に種をまき藁なごにて根本の凍らぬやうかこつておけばフリュームなごに入れないでも育つものである。

## 第七週

自由畫 自在 一回

お玉じゃくし 一回

廣口の硝子瓶や、金魚鉢なごにお玉じゃくしを入れて、保育室で飼養する。眞黒でちよろゝご可愛い姿で泳いでゐるお玉じゃくしは誠に幼児がよろこぶものである。

自由畫ミして畫きあらはすのも丸くして尾をつければよいので至極簡單なものである。

鉄仕事 お玉じゃくし

黒の艶紙なごにて自由畫の時同様にお玉じゃくしの形を切りぬかせる。四五匹位切らせて保姆が糊で帳面にはり

つける。

粘土 お玉じゃくし

ぬりゑ ひなげし

前週缺仕事にてこの材料をぎりあつかつてゐるので、その花の色、葉の色なき幼児には容易にぬる事が出来る。

第八週

自由畫 自在 一回

年長組の自由畫を見る 一回

年長組の自由畫を保育室の壁間にならべて見せる。

粘土 自在 一回

缺仕事 金魚

お玉じゃくし同様に金魚を保育室に飼養する。幼児が金魚を日頃觀察して切り紙として形をつくらせる。チューリップ、ひなげし、お玉じゃくしなきと異り少し形のみにくいものであるが、幼児は比較的簡單にするものがある。

ぬりゑ きんぎょ

幼児に色なき自由にならせる。

年長組、第一保育期

— 満五歳、満六歳 —

生活訓練

第五週

この週では食事の時の注意が行はれる。食事のこまは、

年少組の時から既に幾度も注意され來つてゐるこゝこであるが、年長組になつて一段自分出來るこゝこは自分でする習慣をつけたい。そこで、今までは先生に注いで貰つてゐたお湯を自分で注ぐこゝこにさせる。實をいへば、幼児等はもつと早くから、そうして見たかつたに相違ない。

しかしあぶないこゝこ、こぼすこゝこ、いけないこゝこ、なんのこゝこも止められてゐたのである。その意味では、解禁もいつてもいい、此の動作は、たゞ、湯の注ぎ方といったやうな軽い意味のこゝこでなく、幼児の獨立感へ一步を進めるものであるに相違ない。但、この訓練を初めるに就ては、やかんなり、ぎびんなりの大ききこゝこ形か、殊に注ぎ口の具合をよく注意して置かなければならない。少しでも具合の悪い、持ちにくい、注ぎにくいもので、それをこぼさぬやうにしろさいつても無理である。

湯を自分で注ぐこゝこが出來れば、そろ／＼友達のために、も注いでいいであらう。人のためのサーヴィスとしては、こゝこらが一番何氣なく出來るこゝこであらう。この何氣なく、こゝこふのはサーヴィスの極意であつて、人にも何氣なく見

えると共に、自分にも何氣ない心もちするのである。自分の茶碗へ注ぐ序に、その前でも後でも、近くの友達への注ぐ。いやさうも恐縮々々さいつて貰ふ譯でもなし、一つおつぎ致しませうとお世辭で出る譯でもなしに、何氣なく注ぐのである。カラの茶碗へ注ぐだけのこゝこである。斯ういふ心もちから、必ずしも湯注ぎ當番なこゝこいふ職名をつけなくともよからう。お湯一つ注ぐのに當番の辭令を貰ふのも仰山なこゝこだし、職務上でなければしないこゝこいふ風な氣分を、少しでも養つては却つて面白くない。

一寸茲で、幼児の訓練ではないが序に一口横からのぞいて見たいのは、幼稚園のお湯である。ごみがあつたり、少しでも變な嗅ひがしたり、若しそんなお湯だつたら、注ぐのもたのしみでなからう。これは、先生の方で、小使さんではない。先生の方でよく氣をつけて頂きたい。

同時にも一つ。やく／＼なり、ぎびんなりをぢかに机の上に置く風、あれも是非やめたい。お盆なり、ぎびん敷きなり、ちゃんこいゝものがある筈である。あのぬれたのを、そのまゝ机の上に置いて、そこらに水溜りをつくつたり、

丸い跡をつけたり。いやはや。

## 第六週

## 第七週

こゝの二週が空白になつてゐるのは、訓練休業とか、無訓練週間とかいふものでは勿論ない。一體、各週へ何彼を割りあてゝあるのもその週にきまつた意味でなく、そこらで注意を促して其の後断えず注意をつゞけるこゝとしてゐるのである。訓練に休みなし、ミは訓練のそもゝの秘訣である。

## 第八週

ピアノ・オルガンをいたづら弾きせぬといふことは、一寸、他の訓練事項と違つてゐるが、これは何も、樂器が大切だからといふだけの理由ではない。こうした、先生の使ふ備品を濫りにいぢらないといふことが、全體として訓練意義をもつのである。大人のものを構はず無暗に手を觸れるといふことは、極く幼少のものなら仕方ないとして、年長兒にもなれば、かなりのわきまへがあつていゝ管である

特に、樂器は調律の正しく出來てゐるものである。そこらも、それぐ分つてゐていゝ管である。樂譜にあはせて正しく弾くのでなく、たゞ鳴らして遊ぶのでは、樂器ミ玩具ミの別を誤つてゐるものである。

但、こゝに議論の起りそうな點は、幼兒に樂器を勝手に使はせるこゝは、音樂趣味をおのづからに養ふこゝで、寧ろ獎勵したいと言ふ反論である。勿論、それも目的として異論はない。併し、だからといつて、先生用の樂器ミ幼兒用の樂器ミは、必ずや區別せられてゐる管である。そういふ管である。そういふ目的から幼兒用の樂器の提供されるこゝに就て異議はない。たゞ、先生の樂器をおもち扱ひさせてはならない。先生のいふのは、正しい音律を常に大切にしてゐなければならぬ樂器といふこゝである。

こゝでまた一つ添へ言をいふ。それは、幼稚園の樂器そのものゝこゝである。いへば直ぐ皆さんにもお分りのこゝと思ふが幼稚園のピアノ、オルガン位調子の狂つてゐるものは少なくない。第一、初めから學校のお下がりの古ものであつたり、幼稚園創設何十年來の寶物であつたりする。

それはいゝが、調律がみんな行き届いてゐない。折角く先生の名手を以てしても、キーがまごころゝ氣が抜けてゐたり、ゆるんでゐたりしたのでは、樂器の尊嚴を損するこゝろ甚だしい。そういふ狂つた調子が、音樂教育―耳の訓練に

## 誘導保育案

### 第五週

商店のいろゝ

商店の外廊は漸く目鼻のつく位になつたので、この週あたりから内容即ち品物の製作に移る。

同種の品を澤山作つたり、又はいろゝの種類を拵へたり、ミ言ふ様な事は、子供だけでは、なかゝゝやり終せない事が多いので、多くの助言や、實際の手傳もかなり加へなければならぬ。

### 第六週

消防署

よくないのは言ふまでもないが、それ以上、生活訓練によろしくない。況んや、そんな、自ら己れを侮つてゐるやうな、調子はすれの樂器を濫りにさわるべからずが滑稽になるかも知れない。「こわれもの注意」なら別の問題ですが。

直ぐ近くなので、みんなで見に行つてもいゝ。階下は大きな間口あり、その中に赤の消防自動車が一三臺置いてある。二階には小窓があり、更に其上に高い梯子段があつて、その上に火見櫓があり、火見番が始終廻つて四方を見渡してゐる様子は本校の庭からもよく見られる。之は協同の製作にしてもよし、又希望の人に作らせてもいゝ。やはり、深さのあるしつかりした空箱があるなら、それを利用するのが一番いゝと思ふ。中の火事自動車も、小形の空箱を工作して出来上らせるのが簡單でしつかり出来る。

自動車、電車

街を通る自動車、電車、之も空箱利用が一番しつかり出

来る。

### 第七週

ビルディング、貨物自動車

やはり空箱利用がいゝ様に思ふ。

町を行く人、

厚目の畫用紙に人の繪を描き、それを採色、切り抜きて立つ様にする、みんな一人位つゝ作る。

### 唱歌遊戯

### 第五週

唱歌 一回

しゃぼん玉

しゃぼん玉を知らない子供は居ないか知ら。みんなでしゃぼん玉をこぼして見るこよい。それから歌ひませう。

遊戯 二回

### 第八週

電車停留場 電柱

圓柱はキビガラを用ひてもよし、又畫用紙にて圓筒をこしらへてもよし、共に立つ様に工夫して。

郵便局

特殊な設備の建物であるが故に非常に興味を持つ。適當な箱を持つて來た人に作らしてもよし、有志の兒にてもよし。

### 第六週

唱歌 一回

レコード音楽鑑賞

ほんの短い時間でよい。じつこ靜かに聽かせる。

遊戯 二回

この頃になると、元氣旺盛な男兒の中に、ふざけたり騒いだりして、折角の遊戯を搔廻す様な者が出て来る。遊戯の仲間に加はつた以上は、ちゃんこする様によく注意したい。その代り一方力一杯出して出来る様な興味ある遊戯(競争遊戯其の他)をして、思ひ切り元氣な力を發揮させる様にすればよい。時には男兒と女兒とに分けて、それらに適したものを與へて見る必要がある。

その日にする遊戯の種目は、子供の其の日の氣持や様子を見て、落付のない騒々しい時には、殊に靜かなものを選ぶ様にする。時間も其の時々の様子を見ながら、適當に加減することは云ふまでもない。

氣候もよし、五月晴れの一日、遊戯室にこぢ込めるよりもたまには太鼓やハーモニカ等を持出して外でしよう。  
のぞきこ(記事参照)

## 第七週

唱歌 二回

スナアソビ(エホンシヤウカ)

遊戯 二回

スナアソビ(記事参照)

「ソレソレマリサンオトホリダ……」の所は、鞠になつた者が、二回でも三回でも早くくゞつてよい事にする。大變に面白い。鞠さんの順番の廻つて来るのを樂しみにしながら、何回でもこの遊戯は續けられる。

## 第八週

唱歌 三回

チューリップ兵隊(童謡唱歌名曲全集)

歌詞も長く、曲も少しむづかしいので、二三回に分けて歌はせる。

遊戯 三回

印度の兵隊さん(記事参照)

お話や繪本などでお馴染の印度の兵隊さん。頭には白布を巻いて、長煙管を持った悠長な兵隊さんを想像する。其の様子を面白く話しながら動作をする。いゝ氣持になつてやつてゐる。面白い題材の遊戯である。

のぞきっこ



のぞきっこ 戸倉ハル氏振付

準備 體形を作らず自由に、二人つつ組むで行ふ。

1 第一小節及第二小節の第一音

二人前後に並び、後の者は前の者の肩に軽く兩手をのせ、前者は手を腰にきつて用意をしておく、そして前者は後者の顔をふりむいてみるに同時に後者は前者の顔をのぞき込む様  
にみる。この動作を右に一回行ふ。

2 第二小節第三、四音及第三小節第一音

前と同じのぞいてみる動作を左に一回行ふ。

3 第三小節第二、三音、第四小節及第五小節第一、二音

前と同じ動作を曲によく合はせて右に一回左に一回右に一回  
きくりかへし即ち三回行ふこまなる。



のぞきっぴり

1.



2.



7.



4 第五小節第三、四音及第六小節第一音

前と同じ動作を即ちのぞきみるのを左に一回行ふ。

5 第六小節第二音より第七小節第一音まで

同じ動作を右に一回行ふ。

6 第七小節第二音より第九小節まで

同じ様に動作を左、右、左に行ふ。

7 第十小節より終りまで

二人左右に並び手を前にくみ合せて、スキップで自由な方向に行く。

以上も何回かくりかへして行ひ、一回毎に前後の位置を交換する。

スナアソビ

♩ = 126

すなあそび

戸倉ハル氏振付  
エホンシヤウカ

準備 二人つつ向ひ合つ

て一組を作り数組

づつ一しよになつ

て行ふ、又は圓周

を作つて行つても

よい。

ヤマラツケロカサラサラスナデ

二人向ひ合ひ踏み、兩手にて

前の砂を盛り上げ山を作る動

作を四回行ふ。

ミチヲツケヨカ

二人立つて向ひ合つたまゝ兩

手をつなぎ位置交換。

ギンスナデ

二人手はつないだまゝで頭

を、左、右、左、ミ三回ふる。

#### ヤマニハトンネル

二人手をミつたまゝで一方の手を高くあげトンネルを作り、その中を二人が頭から先に入れてくゞり、この時兩手ともそれぞれかたくミつたまゝはなさないでゐる、するミ二人が背中合せになつたこゝなる。

#### アケマセウ

今度は背中合せのまゝもう一方の手を高くあげその中を二人がくゞり元通りの向ひ合ひになる。

#### ミチニハガードヲカケマセウ

第一番のミチヲツケヨカギンスナデミ同じ動作を行ふ。

#### ソレソレマリサンオトホリダアトカラヤツシヨイオツカケ

二人向ひ合つて兩手を高くミりトンネルを作り、數組が互に近より、そのつゞいたトンネルの中を、まりになつた一組が、三十人の圓であつたら一つの圓に三組位豫め前にまりになる組を定めておく。何回も曲の終るまでの間をかゞむでかけぬけて自分の位置に戻る。これは圓周になつて行つた場合、このまりは、數組が一體ミなつて行ふ場合は、一端の組がまりミなり、回をくりかへす毎に次の組ミ交代する。この時まりは自分の位置にかへらず自分達の組の中の一  
番先の端の位置につく。

印度の兵隊さん

The first system of music consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 4/4 time signature. It begins with a quarter note G4, followed by a quarter rest, then a quarter note A4, and a quarter note B4. The lower staff is in bass clef and features a steady accompaniment of quarter notes: G2, B1, D2, and F#2.

The second system continues the piece. The upper staff has a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5. The lower staff continues with quarter notes G2, B1, D2, and F#2.

The third system features a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5 in the upper staff. The lower staff continues with quarter notes G2, B1, D2, and F#2.

The fourth system shows a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5 in the upper staff. The lower staff continues with quarter notes G2, B1, D2, and F#2.

The fifth system has a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5 in the upper staff. The lower staff continues with quarter notes G2, B1, D2, and F#2.

The sixth system features a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5 in the upper staff. The lower staff continues with quarter notes G2, B1, D2, and F#2.

The seventh system has a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5 in the upper staff. The lower staff continues with quarter notes G2, B1, D2, and F#2.

The eighth system concludes the piece. The upper staff has a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5. The lower staff continues with quarter notes G2, B1, D2, and F#2. The system ends with a double bar line.

1



2



3



4



印度の兵隊さん 戸倉ハル氏振付

準備 圓周を作り内方を向く

1 第一小節より第五小節まで

あぐらをかき、腕をくみ居ねむりをする。

2 第六小節より第九小節第三音まで

あぐらのまゝで、くむでるた手を上に高く勢よくあげる(掌は互に向ひ合はせて)手をおろ

してくみ、又上にあげるこの動作をくりかへし四回行ふ。

3 第九小節第四音より第十三小節まで

右手を右耳の後にあてゝ上體をやゝ右にたをし、靜かに物をきく様子をすることを右、左、

右、左、こ行ふ。

4 第十四小節より第十七小節まで

あぐらのまゝにて手を目の上にかざし、顔を右に向け右の遠方を見る、やはり右、左、右、

左こ行ふ。

5 第十四小節より第十七小節まで

あぐらのまゝで、兩手で長い煙管を持ち煙草をふかす様子をすする。

6 第十八小節

右手で一回右方の床を強くたつき、左でも同じことをする。

7 第十九小節

元氣よく拍手三回。

8 第二十小節

6の動作と同じ。

9 第二十一小節

7の動作と同じ。

10 第二十二小節より第二十五小節まで

急いで立つて元氣よく圓周にそつてかける。

11 第二十六小節より第二十九小節まで

あぐらをかき6、7、8、9と同じ動作をくりかへす。

12 第三十小節より終りまで

10と同じ動作を行ひ、最後に手を上にあげ萬歳を元氣よく叫ぶ。

五週六週さりとて、云ふこと無し。

但しおはなしの始の時に、今日の月日、曜日、天候等のことを繰り返して、把握を強めてゆく。

そろ／＼自分の家族の名、關係、住所等一人づゝ自分で云はれるように。十二月頃迄には、組のみんなが云ひ得るよう、今から折を見て知らせたり、云はせたりして見る。

### 第七週

日本海の大戦

二三日前から、戦況の繪なり、無ければ海上に浮ぶ軍艦の繪なりを掲げておく。戦況の委しい事は話すにはむづかしいが、この戦で、日本が勝つたといふこと、東郷元帥の偉力に依ること等は話しておく。

### 第八週

もみの木

世界的偉大な童話作家アンデルセンの作、すばぬけた想像力で、あの無表情に樹つてゐるもみの木を、こんなにも生かしてゐる。うれしい事だ。もみの木の獨り言も面白いが、木といふものがこんな事を思つてゐる、といふ事から、自分達が日々親しんでゐる、さくら、柳、藤なぎも何か思つてはゐるまいか、思はせて見るのもよい氣がする。

童話が多く動物を材料としてゐるのに、これは珍らしく木を用ひたもの、是非きかせておきたい話である。

浦島太郎（人形芝居）

見てゐても勿論面白いが、今迄の経験によるミ、もう見てゐるだけでは嫌らず、自分達が演じて見たくなるらしい。それにはよく浦島さんの台詞を覚え込んで、友達に見せてゐること、履き見受けるので、これは幼児演出に導くよい材料になる。

觀察

第五週

藤の花

幼稚園の五月に何だか切り離せない花である。藤棚の下はほの明るく香はしい。紫のもやを通して日が光る。この紫の花を散つてくる藤棚の下で、散つた花を、下つたふさで觀察させる。スキートピー等と比較させてもいゝ。各々異つた形の花瓣を注意してみせ、お豆の出来る花はこんな形である。こゝ位は話してもいゝけれど無理に蝶の様な形を表現を押しつけてはならない。が私達としては豈科植物の特徴位は、手近な花に仲間が多いから知つて置き度い。その主なるものは蝶形花冠、兩體雄蕊、夾果或は節夾である。

毛蟲

毛蟲なごわかせるのはいけない、ましてあんないやな害蟲を觀察させるなんて、言へばそれ迄、だがあのみにくい毛蟲から子供達が受取るだらうものゝこゝを考へてもや

り度い。氣味がわるい、こわい、言へばそういうものだから受取るのがこゝも心の素直さである。こうした材料からしてこそ自然に親しませ度い。

普通毛蟲言へば大ていうめけむし、又はてんまけむしと言ふもので、長さが成長しきつた時で六糧内外、青藍色に橙黄色なごの縞の中で中々しぶい、きのきいたなりをしてゐる。これはおびかれは(かれは蛾科)の幼蟲で、梅、苹樹、櫻、梨、桃等の葉をたべる。その他「かれはが」の幼蟲「たけかれは」の幼蟲、まひまひ蛾の幼蟲ぶらんこけむし等種々ある。これ等の毛蟲は手をつまんでもさゝれてはれるこゝいふ様な事はまあない。「まつかれは」の「まつけむし」は昔からさゝれる事で有名であるがこれについてはファーブルが昆蟲記にその毒性を自身で試験して詳しく記してゐる。私達はその毒が何かを検討する事の爲のみでなく、こゝうした學者の自然に對する態度を知る爲に昆蟲記位は讀み



度いものである。この他「いらが」の幼蟲は柿、梨、梅、苹樹等の葉につくが黄褐色の鮮な衣裝で毒針をもつてゐるものである。

誰かがこんな毛蟲のされかをみつけたさする。子供達はまはりに寄つてくるだらう。そうしたらその歩き方、模様、色なご話し合ひ乍らみやう。子供達は、始め後の方のぞいてゐた子供まで近よつてくるに違ひない。そこでその發生の場所をさがす。こちらは判つてゐる筈だ。そこに仲間をみ出す、澤山ゐる。そうしてゐる中、これが蝶になるこ言ふ子供がある。先生は肯定も否定もしないで、さあ何になるか、いつまでも毛蟲ではない、みんな蟲になるか飼つて見ようこ相談する。そして飼ふ事にする。但しその時成可く保育室の外で箱の中でする事にする。葉を與へて飼ふ中子供達は變態をそれに伴ふ蟲の種々の行動に何さなく多くの不思議を感じるであらう。氣味のわるいこさなごも忘れて。

次に門外を通る自動車電車を見に行く、近くの消防署を見に行くさいふ事がある。第八週にも停車場、近くの郵便

局をみに行くさいふ事がある。これ等は誘導保育案に關係して出て來る材料であるがこうした事がなくても社會觀察の一つとして是非し度い事である。いつもこの様なものが好きで注意して、大人の及びもつかない自動車通が多いから言つて、「こんなものは自然に觀察してゐます、さ安心してはならない。全然注意しない子供達も同時に多い、これにさせ度いから立てる課程保育案なのだから。みんなで門の外へ出るこまが大きな嬉しいこまである、はしやいで危険を注意しつゝみんなで作つてゐる町のこまに關係をつけて話し合ひ乍ら觀やう。

## 第六週

小鳥 年少組參照

幼稚園の種々な木の葉

成長した木の葉をみる。思へば色々な形がある、さ感心するわけではないが秋の紅葉の折みるにつけても若葉の間に形や色感じなご見ておき度い。大きな紙にみんなに別々の葉の形をみてかゝせてみるさ面白いものである。豫め保姆が木の名を充分知つて置く可きは勿論である。

## 第七週

クローバーの花

クローバーと言つてゐるのは、豆科植物の「オランダゲンゲ」一名「しろつめくさ」で歐洲原産の宿根草本である。本校へ遊びに行つて一ぱいつんで來たクローバは花束にしたりわに編んだりしても尙餘る程だ。これは香のいゝのを、藤の花の様な形の小さい花が集つてゐる事を注意する。まつ白のやうでもまん中がもゝ色のや紫おびたのがあるのをみつける事もやさしみあることである。

デージー ひなげし

デージー(ひなぎく)、ひなげし共に花壇の花で今を盛り可愛いらしい花である。子供達こゝしに花壇まで寫生に來やう。

小鳥の巢ごもり

小鳥が卵を暖めてゐる。これはぎうしてだか、何だかよく分らない乍ら嬉しく興奮して小屋へみんながかけつけて行く、ぢつこ巢にしやがんでゐる母鳥をみてゐる。しばらく黙つて眺めてから子供達にはひよこがお母さん鳥にあた

ためられた卵からもう二十日位するこ生れるのだからさわがないで毎日お見舞しませうとだけ話す。

## 第八週

小さなばった

草叢なぎにもうバツタが出てくる。この小さなバツタの中にはダイメウバツタ、シャウリヤウバツタ、キチキチバツタ等の幼形もある。これ等は灰緑色で一見弱々しい。がヒシバツタ、ツチヒシバツタ等の大きくならないバツタの場合もある。後者は多く灰色、灰褐色であるから色別がつく。それ等の形の面白さを見やう。バツタに限らずこの時分草原にゐる飛んでくる蟲を氣をつけてゐるこにし度い。

蟻こ巢

兵隊ごこの間、まゝごこの間に草原でふこ見付けた蟻の巢が子供の心を捕へてしまひ劍もお茶碗もほつて眺め入る。そこらの子供を呼び集める。蟻は今しも食物を巢へ運び込まうとしてみゐるのだ。そうしてみゐる間にぎうしても手を出さずにゐられない子が穴に指をつゝ込んで掘出してしまつた。長く廊下の様につゞいた穴がわかつた。「食物

を運んでる蟻さんのお家をこわしては可愛さうだからよしませう」ミ早く言ひ度かつたのだが、一方こゝまではさせて見たいのである。徹底的破壊はやめさせて、その代り蟻十匹程を四角のガラス鉢に土と砂を入れた中へ、飼ふさい。ガラス鉢にそつてよく見える様に巢をこしらへて呉れるからこれによつて先のデレンマから救はれやう。因に普通の蟻はくろあり大くろあり大ありまれにあかありがある。

## 手 技

### 第五週

自由畫 景色の寫生 一回

幼稚園の庭木、山なごをごく簡單に畫けるだけ畫かせる。

椅子やクレヨンなごを庭に持ち出して畫くもよい。

幼稚園の附近の地圖 二回

誘導保育案による幼稚園附近の地圖は幼兒と共に話しあ

ひながらお隣りより順次黑板に本校、小學校、女學校、

そら豆の實

幼稚園の畑のたつたら一しよにつみ取つて（これが望ましいが）でなかつたらさやごごのを買つてくる。そしてむかせる。さやのまはり、中のビロードの様な肌ざわりは氣持がよい。お豆の形をみさせ、一つのさやの中の豆の數を銘々かぞへさせる（その爲一兒一つのさやにしてもよい）そして互に數を比較させる。この材料は簡単な數觀念の養成の方に重心を置く。

校門、電車道、市電大塚終點、大塚驛、大塚仲町交叉點、

護國寺なごの略圖を畫く（この圖を整理した）後にハトロ

ン紙なごに平面圖をかく。

粘土 自在 一回

製作 商店（誘導保育案による）二回

ボールの空箱にて商店をつくる（前週のつづき）今週は商品なごをつくる。

きせかへ人形 一回

幼児の教育三十四卷一月號 花子さん

頭髮は墨でぬらせ、下着の色、顔、手足を薄き色にぬらせる。

## 第六週

自由畫 自在 一回

ぬりゑ バラ 一回

バラの切花があれば至極結構そのバラの色に似た色にぬらせる。

製作 自動車、電車、消防署、四回

誘導保育案による町に走る自動車、電車及び大塚仲町にある消防署をつくる。

いづれもボールの空箱を利用してつくる都合よき空箱のなき場合にはボール紙にてつくる。

きせかへ人形 一回

前回それ／＼の色をぬりたるものを線の外側を切りぬかせる。前後二枚を切りぬかせて心にボールを入れて適當の厚さにして周圍を切りぬく

## 第七週

自由畫 花壇の寫生

草花の色みりみりに咲けるのを幼児の好むまゝに寫生させる。

粘土 軍艦 一回

軍艦の寫真や繪なごを保育室にかけておく。主として幼児がつくるのであるが保姆にしても大體の軍艦の形なご簡單でよいからしつておく必要がある。

製作 人物、ビルディング、貨物自動車 三回

點景人物は粘土で作つてもよい又畫用紙で幾分立體的にあらはしてもよい。

ビルディングはボール紙で、貨物自動車はボールの空箱でつくる。

きせかへ人形 一回

人形花子さんの洋服をつくる(幼児の教育 第三十四卷

二三月號参照)

人形の身體に合せて洋服を幼児自身につくらせる前提として一二洋服の形を示すために、形を色のラシヤ紙なご

に謄寫したものを用ひて幼児にこのめる色をぬらせる。  
人形を入れる箱はボールの空箱に千代紙、模造紙なごに  
て模様をつけてはり合せてつくる。

### 第八週

自由畫 ハトロン紙に毛筆 一回

ハトロン紙の全紙半分位の大きさの紙に毛筆にて大きく  
自由畫をかゝせる。同時に二三人づゝの少人数にて靜か  
にさせる。

缺仕事 ひなげし 一回

年少組の時にもこの材料があつたが年長組として以前よ  
りも細かい表現を期待する。

ぬりゑ イトヒキアジ 一回

この魚の色少々複雑なれば、ぬりたるイトヒキアジを見  
せてぬらせる。

製作 停留場、電柱、二回

停留場、電柱は畫用紙にてつくり、停留場名は幼児にカ  
タカナにてかゝせる。

形は畫用紙を圓筒狀にして適當の色にぬらせ、これを立

たせるために下に粘土をつけて座りをよくする。

## 北信五縣保育大會

- 一、期日 昭和十一年五月十六日(土)十七日(日)
- 一、場所 富山市大正會館(舊城址内舊縣會議事堂)
- 一、主催 富山縣保育協會
- 一、後援 富山市日滿産業大博覽會
- 一、會費 壹 圓
- 一、會員 福井、石川、長野、新潟、富山五縣内幼稚園、保育園及び通年託兒所の關係者

### 備考

- △研究發表は各縣二名宛といたし候
  - △意見交換の談話題御考へ下され度候
  - △講師は東京高等師範學校教授倉橋惣三先生に決定いたし候
  - △汽車五割引券を發行の豫定に候
  - △宿舍は當方にて御世話いたすべく候
  - △詳細は後に更めて御案内申すべく候
- 詳細は富山市富山縣女子師範學校附屬小學校内富山縣保育協會宛照會ありたし

# 日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽 一  
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣 三  
 附屬幼稚園主事 倉橋 惣 三

## 日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
  - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
  - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

- 會ノ開催
  - 一、雜誌發行(毎月一回)
  - 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
  - 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
  - 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
  - 會長 一名 會務ヲ總理ス
  - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
  - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
  - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價	
一ヶ月分	金參拾五錢
半年分	金貳圓拾錢
一年分	金四圓拾錢
拾貳冊送	金四圓貳拾錢
拾貳冊送	金四圓貳拾錢

特等面一頁二面一頁  
 金貳拾圓金拾圓  
 一等面一頁一頁以下  
 金拾五圓御斷  
 神田區駿河臺ノ三品田  
 廣告社に御申込下さい

昭和十一年四月十三日印刷納本  
 昭和十一年四月十五日發行  
 幼兒の教育 第三十六卷 第四號

### 不許複製 轉載

編輯者 倉橋 惣 三  
 發行所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
 印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
 東京市小石川區大塚町三十五  
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內  
 日本幼稚園協會  
 振替口座東京一七二六六番

### 注文規定

- 一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には據て一割増)
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金を振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたします。其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

# 著名園稚幼の書圖洋東

好評八版  
東京女高師教授  
附屬幼稚園主事  
倉橋惣三先生著

四六判美本  
口繪多數入  
定價二圓五十錢  
送料十六錢

## 幼稚園保育法と具諦

▲著者は我國保育界の番宿、本書は現代に於ける最も完備し且系統ある保育原論幼園保育法の眞諦を懇述、優秀なる新保育法載せる最精最良の實景を多數掲載せる最精最良の保育參考書。

【版三】  
東京女高師教授  
倉橋惣三先生  
新庄よしこ先生  
共著

### 日本幼稚園史

菊判三六頁  
價三、八〇  
送〇、一八

苦心二十年の結晶完成、日本幼稚園史として比類なし。歴代皇后陛下行啓の榮を得し我が國幼稚園本山の大記念塔である。

【版七十】  
奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

### 幼稚園の理論及實際

菊判三八頁  
價三、〇〇  
送〇、一八

保母檢定唯一の最良參考書、幼稚園書の王。内外の實際古今の理想悉く一卷に收められ、理論的形態完璧にて些の遺憾なし。

【版六】  
奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

### 幼稚園の經營

栗判三六頁  
價二、八〇  
送〇、一六

保母檢定唯一の最良參考書、幼稚園書の王。内外の實際古今の理想悉く一卷に收められ、理論的形態完璧にて些の遺憾なし。

【版三】  
東京女高師教授  
附屬幼稚園主事  
堀七藏先生著

### 幼稚園保育の諸問題

栗判三六頁  
價二、八〇  
送〇、一六

幼稚園經營並に保育實際に關する理論と實際の諸問題解決。小學校との連絡問題に付懇説。又保育實際に理論付けらる。

【版八】  
奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

### 保母教育學

菊判二八頁  
價二、八〇  
送〇、一六

保母檢定試験規則による1教育2兒童心理3教授法4管理法の大意を網羅せる保母必須書。各府縣檢定指定の唯一參考書。

【版六】  
奈良女高師教授  
附屬幼稚園主事  
森川正雄先生著

### 幼稚園保育法

菊判七五頁  
價二、〇〇  
送〇、一二

育兒法に保母資格試験の必須科目で、本書に其の唯一參考書保母養成所教科書。附録に健康保險法種痘法等掲載し懇切を盡す

東大阪 社會資合式株書圖洋東 京阪  
東市市田區神保一丁目一丁目  
大阪市南區安堂寺一丁目一丁目  
振替(替) 振替(替)  
東京一〇三〇七番  
大阪三九五五番

# 新期御豫算の御按配に

「あれも一臺備へたい」この思召には、兎も角も弊館へ一應御相談下さいませ。

工手間も設備費も、割安、且つ能率的、而も、永久の御使用に耐える御施設を、御豫算の範圍に於て完う致すこと、約三十年に垂んミする弊館の經驗に徴して可能であり、

また内外の幼稚園より御好評を頂いてゐる所以でもあります。

- |                 |      |              |      |
|-----------------|------|--------------|------|
| ◇波 動 廻 轉 塔      | 八〇圓  | ◇コンビネーション運動具 | 八五圓  |
| ◇波 動 廻 轉 馬(新發賣) | 六五圓  | ◇樂隊遊び用樂器一揃   | 一八圓  |
| ◇子 供 の 家(社會遊び)  | 八七圓  | ◇太 鼓 梯 子     | 四〇圓  |
| ◇ス モ ー ル ・セ ッ ト | 三二圓  | ◇鐵製二人乗ぶらんこ   | 五三圓  |
| ◇人形芝居一揃(背景人形共)  | 五〇圓  | ◇大 型 鐵 製 滑 臺 | 七五圓  |
| ◇大型二十人乗シーソー     | 七〇圓  | ◇箱 積 木       | 一八〇圓 |
| ◇梓 の ぼ り        | 一一五圓 |              |      |

(其他種々取揃へて御座います)

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可  
(毎月一回十五日發行)

昭和十一年四月十三日印刷納本  
昭和十一年四月十五日發行

定 價 三 十 五 錢

## 館ルベールフ 社會式株

番七二八三(33)段九話電・二町保神・田神・京東 店 本  
番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大 所張出